一般財団法人とよなか男女共同参画推進財団

2017 年度（平成 29 年度）

事業報告の附属明細書

2017 年 4 月 1 日～2018 年 3 月 31 日

一般財団法人とよなか男女共同参画推進財団

2017年度主な事業の取り組み

	情報事業	市民活動支援事業	講座事業
4月	4/10　保育つきライブラリー	・　協賛（通年） ・　後援（通年） ・　協力（通年） ・　自習室Myすてっぷ（通年）	4/22　ツキイチすてっぷ 4/22　＜共催＞両親教室（すこやかプラザ）
5月	5/8　保育つきライブラリー	5/13　登録団体会議 （助成金説明等）	5/21　ツキイチすてっぷ
6月	6/12　保育つきライブラリー 男女共同参画週間連携展示	6/15　登録団体事業助成金事業審査会 6/18　若い世代支援事業助成金事業　審査会	6/3　市民活動ビギナーズ講座 6/24　男女共同参画週間事業 6/24　＜共催＞両親教室（すこやかプラザ） 6/25　若年女性対象講座①
7月	7/10　保育つきライブラリー		7/1　TOEIC講座～8/26 7/6　＜共催＞転職カフェ（タームⅠ）～8/31 7/16　ツキイチすてっぷ 7/21 、7/28　＜共催＞女性のためのメンタルヘルス講座 7/23　若年女性対象講座②
8月	8/14　保育つきライブラリー		8/26　＜共催＞両親教室（すこやかプラザ）
9月	9/9　ライブラリーまつり 9/11　保育つきライブラリー		9/2　働く女性のスキルアップ講座① 9/10　ツキイチすてっぷ 9/30　＜共催＞転職カフェ（タームⅡ）～11/25
10月			10/7　働く女性のスキルアップ② 10/21　すてっぷゼミナール① 10/21　＜共催＞両親教室 10/22　ツキイチすてっぷ
11月	11/13　保育つきライブラリー 11/30　蔵書点検（～12/7）		11/4　ツキイチすてっぷ 11/5　市民企画委員企画会議～3/3 11/24　すてっぷゼミナール②
12月	12/11　保育つきライブラリー		12/16　＜共催＞両親教室（すこやかプラザ） 12/22　ツキイチすてっぷ
1月			1/14　ツキイチすてっぷ 1/18　＜共催＞転職カフェ（タームⅢ）～3/15
2月	2/13　保育つきライブラリー		2/4　CMと多様な性Ⅱ 2/24　＜共催＞両親教室（すこやかプラザ）
3月	3/12　保育つきライブラリー		3/4　おとな女子服交換パーティ 3/10　すてっぷフェスタ2018 3/11　避難所運営ゲーム

2017年度主な事業の取り組み

	相談事業	施設提供事業	自主事業(受託事業含む)【指定管理外】
4月		＜年間通した取り組み＞ ・貸室使用承認、使用料徴収 ・貸室抽選会 ・目的利用個別相談会 ・ホール内覧会／相談会 ・施設の維持管理 （保守点検、修繕、消防関連、館内安全管理等）	
5月	・　「働く女性のハンドブック」発行		
6月			6/29　＜受託＞就活&Excel対策講座～7/18
7月	7/20-25　夏休みデートDVホットライン 7/22　ちょこっと講座①（豊中市立文化芸術センター） 7/29　SV研修		7/4　＜受託＞すてっぷ職場実習Ⅰ～7/28 7/7　＜受託＞Excel検定対策講座Ⅰ～10/2 7/15　＜受託＞Excel検定対策自習 7/28　＜受託＞再就職支援個別相談会①
8月			8/1　＜受託＞再就職支援個別相談会② 8/27　＜自主＞若年女性交流会①
9月	9/5　豊中市保健所との学習会		9/3　＜受託＞起業プレ講座 9/9　＜受託＞ワンテーブルショップ 9/11　＜受託＞Web活用講座～9/29 9/24　＜自主＞若年女性交流会② 9/28　＜受託＞起業連続講座～12/7
10月	男性のための相談開設 ガールズ相談開設		10/6　＜受託＞就活カフェ① 10/10　＜受託＞すてっぷ職場実習Ⅱ～11/3 10/29　＜自主＞パパと子どものクッキング
11月	女性に対する暴力をなくす運動期間 11/2-30　パネル展 11/16　ちょこっと講座②（千里公民館）		11/7　＜受託＞就活カフェ② 10/7　＜受託＞すてっぷ職場実習Ⅲ～12/15 11/24　＜受託＞Excel検定対策講座～2/19
12月			12/1　＜受託＞就活カフェ③ 12/10　＜自主＞シングルマザー応援フェスタ 12/14　＜受託＞起業グループ相談会①
1月	1/13　ちょこっと講座③（すてっぷ） 1/26　SV研修		1/14　＜受託＞就活カフェ③ 1/15　＜受託＞起業個別相談会① 1/18　＜受託＞起業グループ相談会② 1/25　＜受託＞起業グループ相談会③
2月	2/6　グループ相談会（3回連続）① 2/13　グループ相談会（3回連続）② 2/20　グループ相談会（3回連続）③		2/1　＜受託＞起業個別相談会② 2/8　＜受託＞起業グループ相談会④ 2/15　＜受託＞起業グループ相談会⑤ 2/16　＜受託＞就活カフェ④ 2/22　＜受託＞起業グループ相談会⑥
3月	3/26　豊中市市民協働部くらし支援課との学習会		3/2　＜受託＞女性活躍支援講座（企業対象） 3/4　＜受託＞ワンテーブルショップ

＜所蔵実績＞

種　類	分　類	冊・本数	前年度	増減
図書	00　総記	405	396	9
	01　哲学	736	716	20
	02　歴史･地理	1,078	1,073	5
	03　社会科学	5,056	4,904	152
	3A　労働	875	926	-51
	3B　女性学･男性学	4,016	3,981	35
	04　自然科学	1,125	1,177	-52
	05　工学	709	733	-24
	06　産業	219	220	-1
	07　芸術	1,161	1,065	96
	08　語学	139	137	2
	09　文学	3,538	3,397	141
	児童書	2,571	2,252	319
	小計	21,628	20,977	651
雑誌（タイトル数）	専門誌	187	187	0
	一般誌	7	7	0
	小計	194	194	0
ビデオ・DVD	教材	228	230	-2
	ドキュメンタリー	125	123	2
	アニメ	9	8	1
	アート	9	9	0
	ＴＶ	24	24	0
	映画	359	354	5
	その他	41	35	6
	小計	795	783	12
貸出可能な資料合計		22,617	21,954	663
ミニコミ	専門ミニコミ	128	128	0
行政資料※	行政資料	1,618	4,978	-3,360
ポスター	国内	200	197	3
	海外	68	68	0
帯出禁止資料合計		2,014	5,371	-3,357
除籍				4,178

※昨年に続き書庫の整理を進め、雑誌・ミニコミ・行政資料の大規模除籍を実施した。
※購入以外に、寄贈による所蔵収集をおこなった。（2017年度寄贈受け入れ図書資料：705点）

＜展示実績＞

<table>
<tr><th colspan="2">期間</th><th>テーマ展示</th><th>コーナー展示①</th><th>コーナー展示②</th><th>作家</th><th>ピクチャーレール</th><th>多目的コーナー※</th></tr>
<tr><td>4月</td><td></td><td>パパと一緒なら子育てはもっと楽しい</td><td>新生活スタート・STEPUP</td><td>大人のための絵本</td><td rowspan="2">ヴァージニア・ウルフ</td><td>愛知県人権啓発ポスター</td><td>登録団体展示
フェスタ報告</td></tr>
<tr><td>5月</td><td></td><td>多様な性にYES!</td><td>心と体の元気レシピ</td><td>すてっぷシネマ</td><td>Womenwho dare(藤枝澪子ライブラリー)</td><td>起業支援報告
登録団体展示</td></tr>
<tr><td>6月</td><td></td><td>男女共同参画週間（市内連携）</td><td>詩　～お母さんの気持ち</td><td>もっとコミュニケーション上手に</td><td>萩尾望都</td><td rowspan="2">多様な性、知っていますか？（LGBTプライド月間）</td><td>男女共同参画週間ひとことメッセージ</td></tr>
<tr><td>7月</td><td></td><td rowspan="2">きちんと知っていい恋しよう</td><td>もうすぐ夏休み・大自然と触れ合おう</td><td>ストレスフリーに生きるヒント</td><td>雨宮処凛</td><td>登録団体展示
週間事業報告</td></tr>
<tr><td>8月</td><td></td><td>戦争と平和</td><td>夢を現実にポジティブに変える/夏は文庫を読もう。</td><td>角田光代</td><td rowspan="9">国連の持続可能な開発目標（ＳＤＧＳ）</td><td>子どものつぶやき展
登録団体展示</td></tr>
<tr><td>9月</td><td>前半</td><td rowspan="2">10月11日は国際ガールズデー</td><td rowspan="2">宇宙女子</td><td rowspan="2">今よりももっとフリータイムを作る方法</td><td rowspan="2">わかやまけん</td><td rowspan="2">すてっぷの防災
登録団体展示</td></tr>
<tr><td>後半</td></tr>
<tr><td rowspan="2">10月</td><td>前半</td><td rowspan="3">DV(ﾄﾞﾒｽﾃｨｯｸ･ﾊﾞｲｵﾚﾝｽ)
トラウマからの回復</td><td rowspan="2">あなたの知らない
ミステリー</td><td rowspan="2">オトナが泣けるデトックス絵本＆ココロにビタミン笑える本</td><td rowspan="2">サラ・パレツキー</td><td rowspan="2">国際ガールズデー
登録団体展示</td></tr>
<tr><td>後半</td></tr>
<tr><td rowspan="2">11月</td><td>前半</td><td rowspan="2">十人十色のおばあちゃん</td><td rowspan="2">来たれ、リーガル女子！</td><td rowspan="2">角野栄子</td><td rowspan="2">女性に対する暴力防止パネル
登録団体展示</td></tr>
<tr><td>後半</td></tr>
<tr><td rowspan="2">12月</td><td>前半</td><td rowspan="2">子どもたち・大人たちのクリスマス特集</td><td rowspan="2">人生が前向きに動き出す、セルフケアのススメ</td><td rowspan="2">スー・グラフトン</td><td rowspan="2">登録団体展示
女性の人権ひとことメッセージ</td></tr>
<tr><td>後半</td><td rowspan="3">これからの人生を、もっと愉しく</td></tr>
<tr><td rowspan="2">1月</td><td>前半</td><td rowspan="2">身近な災害対策</td><td rowspan="2">誰かに読んで欲しい本</td><td rowspan="2">アリス・ウォーカー</td><td rowspan="2">登録団体展示
働く女性のハンドブック展示</td></tr>
<tr><td>後半</td></tr>
<tr><td rowspan="2">2月</td><td>前半</td><td rowspan="4">ミモザが黄色い花をつける季節、毎年3月8日は国際女性デーです</td><td rowspan="2">週末セルフケア</td><td rowspan="2">冷え性改善で温かい冬を</td><td rowspan="2">乃南　アサ</td><td rowspan="2">登録団体
男女共同参画キャッチフレーズ募集展示</td></tr>
<tr><td>後半</td></tr>
<tr><td rowspan="2">3月</td><td>前半</td><td rowspan="2">世界のえほん</td><td rowspan="2">イベントコーナに転用</td><td rowspan="2">ピエール・プロブスト</td><td rowspan="2">登録団体展示
すてっぷフェスタ</td></tr>
<tr><td>後半</td></tr>
</table>

事業名	保育つきライブラリー
ねらい	自由時間の捻出が難しく心身への負担が大きい子育て中の利用者の子どもを、一時保育で預かることで、育児中の親が自分だけの時間を持ち、ライブラリーの所蔵資料から再就職情報や自己啓発などの様々な情報を収集する機会をつくる。また、この事業を通して利用者が家庭以外の居場所を発見し、再び社会との接点を持つためのきっかけをつくる。
対象者	未就学の子どもの保護者
計画分類番号	2311　男女共同参画にかかわる図書、資料等の収集、閲覧、貸し出しを行う。 2312　男女共同参画にかかわる展示や情報相談等による情報の加工・提供・発信を進める。 3132　女性のための職業意識や職業観の形成、再就職、キャリアアップ等継続就業を支援する学習機会を提供する。 3322　労働に関わる相談や救済を充実させるほか、労働についての情報や学習機会を提供する。
内容	利用者が一時保育を利用して、すてっぷ情報ライブラリー所蔵の資料を活用する機会の提供と同時に、本人だけでじっくりと生き方や再就職を相談できる時間を提供し、エンパワーメントの機会とする。 一時保育を利用して、すてっぷ情報ライブラリーで過ごす。 子どもたちは、集団での遊びや友だちづくりの場としてプレイルームで保育者と過ごす。
講師	なし
参加人数	187　人（女性　126　人　男性　61　人）　アンケート回収人数81人

ライブラリー内で読書する保護者

一時保育中の様子

参加者の声	・女性の社会参加についての本もあり、今後のことを考えるいい機会です。 ・私の関心あるテーマの本が凝縮されて”読みたい”気持ちが高まります。2時間があっという間で…次回も楽しみにしています。 ・一度、仕事をやめて今は育児に集中してるのですが、まずは週2～3回からでも自分に合った仕事を探そうかなと思いました。
ねらいに対しての成果	応募率も高いことから、育児期の保護者が子育てから解放されて一人になることへの高いニーズが見て取れる。本を通しての自己啓発やリフレッシュにかける時間を持てることへの満足度は非常に高く、狙い通りの成果は十分に上げることができた。また新規優先枠を3枠から5枠へと増やし、なるべく新しい方に参加いただけるよう配慮した。次年度からは参加を先着から抽選に変更する。

事業名	男女共同参画週間　連携展示		
ねらい	・男女共同参画週間にあわせて、市内全域で男女共同参画に取り組んでもらう。 ・すてっぷ情報ライブラリーから専門図書室としてテーマを提案し、図書館施設への男女共同参画テーマの啓発とライブラリーの認知度向上をはかる。 ・イベント単位での図書館施設との連携を継続し、日常的な連携や情報共有へつなげるあしがかりとする。		
対象者	各図書館利用者など		
計画分類番号	2311　男女共同参画にかかわる図書、資料等の収集、閲覧、貸し出しを行う。 2312　男女共同参画にかかわる展示や情報相談等による情報の加工・提供・発信を進める。 2313　男女共同参画にかかわる情報の収集・加工・提供・発信のため、他の自治体の男女共同参画センターや各種機関と連携、協力を図る。		
実施日等	2017年6月～参加館にて任意期間での実施		
内容	男女共同参画週間　連携展示　選択テーマ ・男の子・女の子じゃない、「自分らしく」 ・社会で女性が活躍する ・こんな仕事をしてみたい！ ①各館でテーマを選び、各館の所蔵資料でコーナー展示してもらう。 ②展示にはすてっぷから提供した共通ポスターを使用。 ③各テーマを含んだブックリストを提供し、一緒に配布してもらう。 ④男女共同参画についてわかりやすく説明したポスターを掲示してもらう。 上記を、市立図書館、読書振興課を通じて、市立図書館、豊中市内学校図書館へ参加を呼び掛ける。		
講師	なし		
参加人数	12　館	アンケート回収人数	12　館

小中学校など対象者にあわせてデザインが選択できるPOPを提供した

庄内図書館

桜塚小学校

同時にパネル貸出や、専門書の団体貸出を実施し、センターの認知度向上にも努めた。

参加者の声	・展示コーナーに、ポスター・パネル・関連資料・チラシファイルを設置しました。来館の方へ、連携していること、男女共同参画、すてっぷ施設について知ってもらう機会になったと思います。 ・今回、自校の人権朝会とテーマが重なったので取り組みやすかったです。展示している資料をじっくり見ている児童もいました。今後も取り組みたいと思います。
ねらいに対しての成果	・連携展示と同時に「男女共同参画とは」のパネルを制作し、より男女共同参画を伝えられるよう努めた結果、パネルをあわせて展示いただけた。 ・連携展示と同時にパネル展を実施いただき、すてっぷ所蔵パネルの活用につながった。 ・連携展示と同時に専門書を団体貸出し、すてっぷの専門図書館としての認知度向上をはかることができた。 ・参加館全てから「次回も参加したい」という回答を得ることが出来た。今後の連携展示などへ継続して取り組む。

事業名	ライブラリーまつり2017		
ねらい	・9月9日の「市民活動ジャンプフェスタ」の開催にあわせてすてっぷでもイベントを開催し、国際交流センター・市民活動情報サロンとの連携による来室者増を図る。 ・情報ライブラリー内で気軽に参加できるイベントを行い、賑やかさや活気を出すことでより多くの市民への認知度向上を図る。		
対象者	情報ライブラリー利用者、ジャンプフェスタ参加者など		
計画分類番号	1111　あらゆる人々の人権を尊重する意識を育む啓発や情報提供を行う。 1421　男女共同参画の視点によるメディア・リテラシーの向上を図るため図書・資料等情報の収集、提供を進める。 2231　地域の団体・グループ等に対し、男女共同参画にかかわる研修の機会の提供や情報提供を進める。 2311　男女共同参画にかかわる図書、資料等の収集、閲覧、貸し出しを行う。		
実施日等	2017年9月9日　10:00～16:30		
内容	・リサイクル本配布（①10:30-11:30、②15:00-16:00） ・芝生で読書コーナー（人工芝を敷いて座り読みできる絵本ひろば） ・楽器の音にあわせて親子であそぼう（11:30～12:00）（講師：団欒長屋プロジェクトだんらんスマイル） ・こころに風吹くハッピー絵本（14:00～14:30） ・どうぶつGO！どうぶつ風船をゲット！（室内オリエンテーリング） ・本の福袋（職員がテーマ別に選んだ貸出用の本セット） ・陶器とりかえ隊コーナー設置（赤ちゃんからのESD連携） ・マチカネくんと写真撮影会（ロビー：13:10～時間限定）		
講師	団欒長屋プロジェクト　だんらんスマイル		
参加人数	381　人（女性　人　男性　人）	アンケート回収人数	112　人

当日の来室者2,321人

どうぶつGOが子どもたちに大人気

楽器の音にあわせて親子であそぶ

絵本の紹介を熱心に聞く参加者

参加者の声	・本の紹介は地域を超えてまで見にゆきたい。 ・音楽にあわせて～のイベント、とてもこどもがよろこびました。 ・無料で本がもらえるのはありがたい。 ・本の福袋の企画、面白いと思いました！ ・普段経験できないことができる。 ・リサイクル本の配布、絵本が沢山あればうれしいです。あっという間になくなりとても残念でした。
ねらいに対しての成果	・当日のライブラリー来室者数2,321人/日（昨年1,390人） ・各イベントごとの参加者数…リサイクル本配布：106人/どうぶつGO：165人/音楽に合わせて親子であそぼう80人/こころに風吹くハッピー絵本30人/ ・ワンテーブルショップ、国際交流センター、ジャンプフェスタからの回遊客も多く、同日開催の狙いが功を奏した。 ・親子連れを主要ターゲットとして企画し、スタッフが地道に近隣マンションへのポスティングや幼稚園への周知に努めた結果、多くの親子連れで賑わった。

事業名	すてっぷフェスタ2018連動企画・リサイクル本配布
ねらい	・情報ライブラリーに賑やかさや活気を出すことで、より多くの市民への認知度向上を図る。 ・3月10日の「すてっぷフェスタ2018」の開催にあわせ開催し、来室者増を図る。
対象者	情報ライブラリー利用者、フェスタ講演会参加者など
計画分類番号	1111　あらゆる人々の人権を尊重する意識を育む啓発や情報提供を行う。 1421　男女共同参画の視点によるメディア・リテラシーの向上を図るため図書・資料等情報の収集、提供を進める。 2311　男女共同参画にかかわる図書、資料等の収集、閲覧、貸し出しを行う。 2312　男女共同参画にかかわる展示や情報相談等による情報の加工・提供・発信を進める。
実施日等	2018年3月10日（土）①10:30～11:30②14:00～15:00（最終16:00まで）
内容	・リサイクル本配布①10:30～12:00②13:30～15:00 ※年度末につき、所蔵期限の終了した雑誌も提供する。 1人あたり10冊まで。シリーズ本は1冊扱い。 うち、絵本、雑誌は各5冊まで。 （15時以降は何冊でも持ち帰り自由・最終17:00まで）
講師	なし
参加人数	73　人（女性　51　人　男性　22　人）

スペースを広くとり、本をジャンル分けすることで利用者にみやすくした。子連れの参加者が多かった。

近隣のシニア層を中心に絵本などを寄贈いただいた。
一部をライブラリー所蔵とし、除籍本をあわせて332点を出品した。

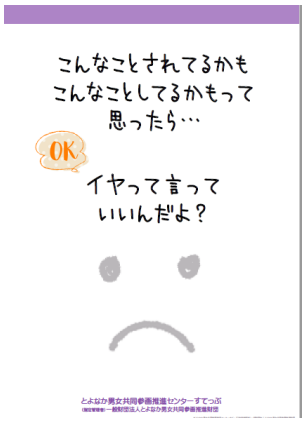
参加者の声	私自身の都合上、限られた時間でしか参加できず…でしたが読みたいと思う本に出会えてうれしかったです。 マンガや本がもらえてうれしい。 ふだん読まない本に出会えた。 いい本がいっぱいあった。
ねらいに対しての成果	ライブラリーまつりでの実施経験から、担当者が入場者の誘導準備を整え、混乱なく実施することができた。 継続を望む声が多く、除籍本の無料配布とあわせて、今後も定期的に実施してゆく。

＜情報誌すてっぷON！発行実績＞

A4/8p/カラー/発行部数2500部　年2回発行

すてっぷON!vol.15	2018年1月15日発行
 すてっぷゼミナール 2017 Part2 暴力にさらされる少女たちと共に生きる ～著書「裸足で逃げる」の出会いから～ 開催日時：2017年11月24日（金）14時～16時 講師：上間陽子 琉球大学教授 今回、上間陽子さんから、性暴力について執筆する動機となった沖縄の社会的背景や少女たちとの対話を紹介しました。自分を大切に思う時間を保障する場の、その場づくりの実践ではなく仕事場として整えることの大切さ、学校という場での組織について考えるきっかけになりました。少女たちのくわしいインタビューについては、ぜひ書籍を読み解いてください。 ■開催のきっかけ 私は、高校でのスニメノグラフーや会話的なかの学生の学校体験調査などお調査のお事をしてきて、12年前に沖縄に移ってきた。2010年7月に、14歳の中学生が自殺したことがあります。その中学生の母親とのお、家族者と被害者の家族へのヒアリングのなかで一緒に執筆を進めることっ声が相ともなかった。調査によってそれぞれの生育環境や家族を知ったりすることの多さ。ひとつ一つのきっかけである。その後、打開策のきっかけとなったのが、2016年の調査の被害者・加害者となった少女たちの家族を対象に成育環境を知ったりすることの、高校調査で感じている思い・女性への調査を始めた。 ■「裸足で逃げる」の背景 これまでは性暴力について書かないと決めてきたが、2016年夏に沖縄県庁・家庭による20歳の女性の殺人事件が起こり、「もういい加減にして」という気持ちが湧き起こり、同時に私自身が性暴力について書かないと決めていたことを思ったのは3年以前の状況に加担したのではないかと考え、本を書くことを決めた。 もう一つ会話にあったのは、学校の現場の大きさで本ある。今、沖縄では2016年にすでにも無登録が259ヒ本ある。とが分かり、仕事あげて者り新・生徒課、スクールソーシャルワーカーなど、貧困対策施策として学校をプラットフォームとする動きがある。一方で、学力調査で書きなどにあることから「年度早起き朝ごはん」運動などを注意喚と学の手補足自主に結び付けた動きがなかなかあり、それが中ょとの思いで生活していもチを学校から遠いやることになるかっと思ったっている。 支援者が子どもに会ない、話をしてもらえるようになるのは難しい。「書かなきゃ・うけも」ことの難しさや悲しさをする子どもも現れるようになりましたらいやっか、子ども社会的なくような言葉をかけられたり、そのように自分のことは話さない。 現そのり分かからないと子どもは話をしてくれないので、性暴力を書くこと。子どもとの関係の方が見えるように、読みやすく書けたと思った。 方法論的のことでは、本人たちと連切れない関係をつくること（SNS、ブログ、ライン、携帯電話など）分からないことがあるとかはこ一緒書き。ゆよりも、彼女たち第一義者にすることを大事にしてきた。調査は、彼女たちの話で聞き、ご確認してもらいながら、彼女たちが納得するかどうかを話合いにしてきた。 ■インタビューから見える学校の可能性 一方で、調査を通して、学校生活で支人関係や集団性を育てるのどうかは、その後の生き方や人間関係のつくりと深くかかわることが見える。 中学校内の神間関係に支えられて 学業なんは、中学校で力がグループを組成していたが、キャパクラで所属も所属ら自に本いなかう働いていた。彼女が将来職というお選択をしたとき、中学時代のグループが彼女を一致団結して支えて乗り切ることができるど、彼は学校での関係が続いたことでお助いの成績意をよくり取り本ったグループに助られた。 C組も編年時代編成する 前ウたんは15歳の時に中学時代から DV を受けながら結婚。その時の離婚時にも、シェルターに連れていってくれたC中時代の友人、子育てを応援した保健師、キャパクラで働きながら通学中学校を応援した家族や定時制高校での友人や教師などの過切りない支援の中で、暴力的になっていくような自分の未来が遠い」と思った。その夢を実現させることができた。同りさんが定時制高校で夢をにはすることができたのは、自分について自信に欠けり、悩い悩しが弱されを補で、悩い年まってもそれは応援してくれる見通しを持てたからだ。 中学時代は本当にすらっかりでなかった。 森本さんは、兄から暴力を受けて育ち、17歳からキャバクラで働き、妊娠、離婚中退、結婚、出産、離婚、その後、DV を受ける彼と出会い、妊娠は進まずしまう が、彼女は一人で決意する。彼女のネットワークはオーナーたち男性と女性の関係が主で女性と反家的な関係をつくるのは感受できる。学校的な人、勉強、話を聞いてもらう場として助かず、その後のネットワークや生活の形成に機能しなかった。 ■とりやすくつくるために 支援の場でできることは、自分の感覚を通じ書いて取りをすることと建てることだと思う。ニーズを把握することは大事だが、ニーズ、自体を「キアル」が知いと意識をとれない、人は安心して思せる環境で初めて自分の語りに乗ってきて、ロに出すことができるようになる。ゆより急させようとかを手助ゆ助するのが「寄り添う」ということ。 学校生活で友人関係や集団性を育てたチャ、ときに社会でいるとと支援をできる。だからこそ学校の役割や支援者の役割は大きい。 私の調査は、最初から支援が決まったのではなく、彼女たちの仕事や仕事をしている中のムについて聞いて聞き聞くしりことにある。また、支援が必要だと思ったケースについても、ときどくは、ただそしこ一ターを訪れて、一緒にのはんを食べながらインタビューをしている。それが最初になされたと思に。2010一年が見えてくる。 彼女たちの苦しみの深さは、ふ時ったは深は、苦しすぎてその苦しさを隠れない状態であるが、何度も聞くことよって、それでも「こうを生きてきた」という自分の軌跡が見えるようになり、それが変化こつ力がるように感じる。でかからも、そういうことを主軸にしながら、聞き続けることを言いたい。 若者支援 in 豊中市 ～「ひきこもり女子会」も開催～ これまで若者を対象とした行政の取組みは、概念覚成や自行政のはか、教育施策など社会教育活動がなかった。 しかし、バブル経済が崩壊する1990年代から、家庭や関係間等、小中学校での不登校、高等学校の中途退学、ひきこもりなどの問題発生、非正規雇用労働者などが社会問題として取り上げられるようになった。 こうした問題を有する若者への支援を行うために、平成21年7月に「子ども・若者育成支援推進法」が制定され、豊中市でも平成28年3月に「豊中市若者支援構想」を策定し、若者支援に取組んできました。 現在、豊中市では、平成27年10月に設置した豊中市子ども・若者支援協議会のネットワークを活用した支援体制の充実を図りながら、困難を有する若者や家族を対象とした事業や若者の自立を支援する人材の養成に取組むとともに、子ども・若者の疑問や悩み事と自立に向けた取組みを総合的に推進するために「仮称）豊中市若者自立支援計画」の策定に取組んでいます。 平成28年度に実施した調査では、豊中市内でひきこもり状態にある若者（15歳～39歳（約2,500人）と推計され、そのうち54.2%が女性であることと、40.8%が7年以上ひきこもり状態であること、41.6%が30歳以上で家族と分かりからない、人との関わり分十分に育てれ、社会生活にうまく適応できない若者の状況が把握することができました。また、これまで表面化されてこなかったひきこもりや生きづらさを抱える女性を対象とした「ひきこもり女子会」や就業支援なども開催機能や相談と共に取組んでいます。 （豊中市市民協働部くらし支援課主幹　藤田安彦） 若者女性向け意識を今年度も継続 生きづらさや働きづらさを感じている 39 歳くらいまでの本職女性を対象に、今年度も事業を継続しています。コミュニケーション機能は無限人実で、母親も関係の強は行う時行で無関係になって愛はとが判明した。スイーツ大いり調査はプループが開催しながら会話をするため、対人関係に苦手意識がある人も話しやすかったようです。その後も月1回の交流会を続け、今は7名に実施する場の交換ペースに向けて「すてっぷ女子会（Girls bar）」という名前で集まり、会話を楽しんでいます。参加者はそれぞれ違和感をもった人たちと交流を図ればいます。参不職場とはまだ別の参場所になれるようにも今も考慮入っています。 スイーツ大いり 若者女性の交流会	 あたりまえを問い直す ～セクシュアルマイノリティについて考える市民の取組み とよなか男女共同参画推進センターすてっぷでは、男女共同参画社会の実現をめざして多くの市民が活動をしています。市民活動を応援することは、すてっぷの大事な仕事です。今回は、セクシュアルマイノリティ（性的少数者）の人権について考える市民の取組みから報告をいただきました。これからの「男女共同参画社会」を考える貴重なヒントに相談します。 生きづらさは地続きにある 男女共同参画社会をつくる豊中連絡会（すてっぷ登録団体） ■不平等を問い続けて活動 私たちは 2002年12月、より良い「男女共同参画推進条例」を動いて男女平等を実現しようと、会を結成しました。学習会会議・すてっぷで活動するグループのネットワーク作り・フェスタ開催・行政への要望行動などを行なってきました。 学習会は、「男女不平等を変えていこう！」をテーマにして、毎年2回は実施しています。今、参加者は最の考えが変組は。勝ち組・負け組と格差がひろがり、さまざまな場面で「生きづらさ」が生まれています。女性の間でも、シングルマザーや新川母を失くしている若い女性の「生きづらさ」は一層深刻になっ生まれます。こうした状況を踏まえ、最近では、「どんな「生きづらさ」があるのかを知り、それをなくすためにも、たちゃんひとりは何ができるのかを一緒に考える場」にすることを目的としています。 今年の一回目は、多様な個人を認め合い大切にし合う社会を目ざして、セクシュアルマイノリティの人たちの「生きづらさ」に焦点をあてようと決めました。2017年度から高校の家庭科教科書に LGBT の記述が入っ的の名称・ふたとも表現しになりました。 ■沖縄弁護士の自分を肯定する生き方に学ぶ 10月15日、講師に出事者の仲間しゅんさんを迎えました。「沖縄とは男性の女性弁護士です」という自己紹介から始まって、大阪弁で楽しく生活しながら話されました。「セクシュアルマイノリティとは、その社会で「普通とされている」性の あり方に当てはまらず、マイノリティ である人のことと」「職場で、「セクシュアルマイノリティの既定するのはいいが、あなたがそうだと言うのはやめてください」と言われたことがある。これは前置成長期間、思春期を中心、性的関係を通じて、性的少数者の人権を考えるきっかけとなりました。 大阪弁で楽しく生活する沖縄弁護士仲間しゅんさん 多様な生き方を地域で一緒に考えたい 米原 真紀 （関西クィア映画祭実行委員） ■関西クィア映画祭とは 関西クィア映画祭は、今年で 12 回目の開催を迎えます。2014 年からはすでに日本全国最大として、世界中からクィア（注）、ジェンダー、セクシュアリティ、フェミニズムを扱った作品、性的少数者などを扱った作品、性に関わる暮らしや生き方をテーマにした作品を集めて上映しています。 欧米だけでなく、日本を含むアジア各国、南米、中東など文化、民族や宗教にも多様性のある作品選びをこれからもしています。セクシュアルマイノリティ（性的少数者）の存在は普遍的であり、それぞれの文化の中で、様々な葛藤を抱えながら、自分らしく生きている人々の姿を紹介したいと考えるからです。 ■すてっぷで実施するということ 「あなたは、どんな性別で生きていますか？」 「どんな恋愛を好、どんなパートナーですか？」 「女（男）とは、何ですか？誰ですか？」 関西クィア映画祭は、社会のその「当たり前」とされる性別のあり方や生き方に対して、問い直を投げかけます。家庭、学校、職場など生活のあらゆる場面で、女性と男性に相関にこ分されています。すべてのA見が見た人種の事生きで決ふこも、かかわらず、「身体の性別と性自認が一致している人（シスジェンダー）」かつ「異性愛者」にのみ、特別な自由が保障されているのが現在の社会です。社会全体が、私たちからの問題提起を受け、すてっぷはさと思ういろ2つの他のみに限らずダイバーシティ（多様性）という愛大力を幅引することを期待しています。 ■地域との関わり 関西クィア映画祭を知る若は、自分自身がシスジェンダーや異性愛者であること、それが多数派における無意識の暴力であることなどについて考えたことなかったというんあります。 すてっぷで開催したことで、その地域の人々が私たちを個人として知り、社会の抱える問題について関題的に深ぼりとしてくれる人もいます。 ■自分たちの中の差別と向き合う 関西クィア映画祭も完全ではありません。性的少数者に対する差別に対しては敏感であっても、自分たちの内部の差別（女性差別、人種差別、民族差別、トランスジェンダー差別、障がい者差別、セックスワーカー差別、貧困など）については無関心である場合があります。まだ私たちが存在に気づいていない、認に考えられた人々もいるでしょう。私たちが共通としているものもたくさんあると思います。私たちは自分に何かを発見&出場合のでなく、そのような問題を地域の力からも一緒に考えていきたいと思います。 「あなたは今、どんな性を生きていますか？」 （注）クィア Queer ～性の領域で「ふつう」ではないと考えられているようなものの表現でした。これを逆手にとって使うことで、様々な分類消を考えて、「ヘンでもいい」「ヘンの方がいい」という意味を含ませ、性的少数者をはじめとする「普通でない」「異性的でない」生き方をポジティブにとらえ直す意図があります。 第12回関西クィア映画祭2018は、9月22日（土）～24日（月）にすてっぷホールを会場に開催予定です。開ぶっくてくださる実行委員（当日スタッフ含む）募集しています。	（テーマ） 暴力にさらされた少女たちと共に生きる～著書「裸足で逃げる」の出会いから～上間陽子 他／若者支援in豊中市～「ひきこもり女子会」も開催／2017年すてっぷの取り組みから／みんなのちょこっと相談／私とジェンダー
すてっぷON!vol.16	2018年3月31日発行
 あたりまえを問い直す ～セクシュアルマイノリティについて考える市民の取組み とよなか男女共同参画推進センターすてっぷでは、男女共同参画社会の実現をめざして多くの市民が活動をしています。市民活動を応援することは、すてっぷの大事な仕事です。今回は、セクシュアルマイノリティ（性的少数者）の人権について考える市民の取組みから報告をいただきました。これからの「男女共同参画社会」を考える貴重なヒントに相談します。 生きづらさは地続きにある 男女共同参画社会をつくる豊中連絡会（すてっぷ登録団体） ■不平等を問い続けて活動 私たちは 2002年12月、より良い「男女共同参画推進条例」を動いて男女平等を実現しようと、会を結成しました。学習会会議・すてっぷで活動するグループのネットワーク作り・フェスタ開催・行政への要望行動などを行なってきました。 学習会は、「男女不平等を変えていこう！」をテーマにして、毎年2回は実施しています。今、参加者は最の考えが変組は。勝ち組・負け組と格差がひろがり、さまざまな場面で「生きづらさ」が生まれています。女性の間でも、シングルマザーや新川母を失くしている若い女性の「生きづらさ」は一層深刻になっ生まれます。こうした状況を踏まえ、最近では、「どんな「生きづらさ」があるのかを知り、それをなくすためにも、たちゃんひとりは何ができるのかを一緒に考える場」にすることを目的としています。 今年の一回目は、多様な個人を認め合い大切にし合う社会を目ざして、セクシュアルマイノリティの人たちの「生きづらさ」に焦点をあてようと決めました。2017年度から高校の家庭科教科書に LGBT の記述が入っ的の名称・ふたとも表現しになりました。 ■沖縄弁護士の自分を肯定する生き方に学ぶ 10月15日、講師に出事者の仲間しゅんさんを迎えました。「沖縄とは男性の女性弁護士です」という自己紹介から始まって、大阪弁で楽しく生活しながら話されました。「セクシュアルマイノリティとは、その社会で「普通とされている」性の あり方に当てはまらず、マイノリティ である人のことと」「職場で、「セクシュアルマイノリティの既定するのはいいが、あなたがそうだと言うのはやめてください」と言われたことがある。これは前置成長期間、思春期を中心、性的関係を通じて、性的少数者の人権を考えるきっかけとなりました。 多様な生き方を地域で一緒に考えたい 米原 真紀 （関西クィア映画祭実行委員） ■関西クィア映画祭とは 関西クィア映画祭は、今年で 12 回目の開催を迎えます。2014 年からはすでに日本全国最大として、世界中からクィア（注）、ジェンダー、セクシュアリティ、フェミニズムを扱った作品、性的少数者などを扱った作品、性に関わる暮らしや生き方をテーマにした作品を集めて上映しています。 欧米だけでなく、日本を含むアジア各国、南米、中東など文化、民族や宗教にも多様性のある作品選びをこれからもしています。セクシュアルマイノリティ（性的少数者）の存在は普遍的であり、それぞれの文化の中で、様々な葛藤を抱えながら、自分らしく生きている人々の姿を紹介したいと考えるからです。 ■すてっぷで実施するということ 「あなたは、どんな性別で生きていますか？」 「どんな恋愛を好、どんなパートナーですか？」 「女（男）とは、何ですか？誰ですか？」 関西クィア映画祭は、社会のその「当たり前」とされる性別のあり方や生き方に対して、問い直を投げかけます。家庭、学校、職場など生活のあらゆる場面で、女性と男性に相関にこ分されています。すべてのA見が見た人種の事生きで決ふこも、かかわらず、「身体の性別と性自認が一致している人（シスジェンダー）」かつ「異性愛者」にのみ、特別な自由が保障されているのが現在の社会です。社会全体が、私たちからの問題提起を受け、すてっぷはさと思ういろ2つの他のみに限らずダイバーシティ（多様性）という愛大力を幅引することを期待しています。 ■地域との関わり 関西クィア映画祭を知る若は、自分自身がシスジェンダーや異性愛者であること、それが多数派における無意識の暴力であることなどについて考えたことなかったというんあります。 すてっぷで開催したことで、その地域の人々が私たちを個人として知り、社会の抱える問題について関題的に深ぼりとしてくれる人もいます。 ■自分たちの中の差別と向き合う 関西クィア映画祭も完全ではありません。性的少数者に対する差別に対しては敏感であっても、自分たちの内部の差別（女性差別、人種差別、民族差別、トランスジェンダー差別、障がい者差別、セックスワーカー差別、貧困など）については無関心である場合があります。まだ私たちが存在に気づいていない、認に考えられた人々もいるでしょう。私たちが共通としているものもたくさんあると思います。私たちは自分に何かを発見&出場合のでなく、そのような問題を地域の力からも一緒に考えていきたいと思います。 「あなたは今、どんな性を生きていますか？」 （注）クィア Queer ～性の領域で「ふつう」ではないと考えられているようものの表現でした。これを逆手にとって使うことで、様々な分類消を考えて、「ヘンでもいい」「ヘンの方がいい」という意味を含ませ、性的少数者をはじめとする「普通でない」「異性的でない」生き方をポジティブにとらえ直す意図があります。 第12回関西クィア映画祭2018は、9月22日（土）～24日（月）にすてっぷホールを会場に開催予定です。開ぶっくてくださる実行委員（当日スタッフ含む）募集しています。	（テーマ） あたりまえを問い直す ～セクシュアルマイノリティについて考える市民の取組み 他／学び、つなぐ「Too You～あなたへ」発行／すてっぷ　地域とともに／みんなのちょこっと相談／私とジェンダー

＜ジェンダーに関するパネル制作実績＞

	タイトル・内容	参考
1	男女共同参画ってなに？ 2017年6月作成／4枚組 男女共同参画週間連携展示にあわせて作成し、連携した市立図書館、学校図書館へもPDFで配布をした。	
2	国際ガールズデー 2017年10月作成／4枚組 UN WOMEN掲載の女子教育の重要性などを、国連代表者の発言抜粋とともに紹介した。	
3	カノジョがいるキミ、カレシがいるワタシへ 2018年3月作成／11枚組 すてっぷ相談室監修のデートDV防止内容を、若年層向けの デザインでパネル化した。	
4	女性の学び支援事業紹介 2018年2月作成／5枚組 文部科学省主催「平成29年度女性の学び支援のための研究協議会における取組紹介パネル展示」へ、受託事業での再就職支援と起業支援についてのパネルを制作、出展した。	

市民活動支援事業実施状況

1）すてっぷ登録団体支援

① すてっぷ登録団体交流促進

＜すてっぷ主催会議＞

No	実施日時	主な議題
1	5月13日（土） 10:30～12:00	2017年度のすてっぷの取組み 多目的コーナーの展示予定 2017年度のすてっぷ登録団体助成金事業の説明 2017年度の若い世代支援事業助成金事業の説明

＜登録団体世話人会主催＞

No	実施日時	主な議題
1	4月10日（月） 19:00～21:00	（会議前にすてっぷと）多目的コーナーの打ち合わせ、登団ネットワーク会議の打ち合わせ
2	6月5日（月） 18:30～21:00	登団ネットワーク会議の打ち合わせ
3	8月8日（火） 19:00～21:00	登団ネットワーク会議の打ち合わせ、すてっぷフェスタについて
4	11月7日（月） 16:00～18:00	登団ネットワーク会議の打ち合わせ
5	2018年1月12日（金） 16:00～18:00	登団ネットワーク会議の打ち合わせ、すてっぷフェスタ参加申し込みの調整
6	2018年2月18日（日） 16:00～18:00	すてっぷフェスタについて

＜登録団体ネットワーク会議（世話人会運営）＞

No	実施日時	主な議題
1	4月15日（土） 10:30～12:00	新規団体紹介、2018年フェスタ、年間計画
2	6月10日（土） 10:00～12:00	第2次豊中市男女共同参画計画改定版について男女係より説明、2018年フェスタ
3	9月3日（日） 13:30～15:30	フェスタについて、研修
4	11月25日（土） 13:30～15:30	フェスタについて（交流会・使用スペースの募集案内、役割分担）
5	2018年1月13日（土） 10:30～12:20	フェスタについて（交流会・使用スペースの調整、役割分担の決定） 多目的コーナー展示　2018年2月、3月分

＜その他＞

No	実施日時	主な議題
1	7月4日（火） 17:00～18:50	登団世話人会の呼びかけによるすてっぷとの話し合い ・2017年度すてっぷフェスタについて ・助成金事業について
2	8月8日（火） 18:00～19:00	7月4日を受けた登録団体世話人会とすてっぷとの話し合い ・2017年度すてっぷフェスタについて

＜多目的コーナーにおける活動の場、交流の場づくり＞

・机、椅子を設置し、すてっぷ登録団体が会議、作業、交流できる場として提供した。
・すてっぷ登録団体が告知や活動状況の報告等を掲示できる展示スペースを提供した。

②すてっぷ登録団体事業助成金事業の概要と募集

対象	すてっぷ登録団体が実施する事業
支援内容	1事業につき上限3万円（総額24万円）の助成、施設・設備の提供、広報、運営支援
募集期間	5月13日～6月10日
審査会	実施日:6月15日（木） 小川 真知子（特定非営利活動法人SEAN 理事長） 山野上 隆史（公益財団法人とよなか国際交流協会 事務局長） 西村 寿子（一般財団法人とよなか男女共同参画推進財団 事務局長）
応募数	12事業
審査結果	10事業を採択

③すてっぷ登録団体事業助成金事業　実施状況

総額:230,986円を助成

	主催団体	催し	実施日	参加人数（延べ）
1	朗読人ひまわり	第7回3.11東日本大震災支援チャリティーイベント「朗読＆絵本とピアノのコラボ　いのちいっぱい～絆～」	8月15日(火) 13:30～15:30	150 人
2	(特非)豊中市民エネルギーの会・女性部	「日本と再生」河合弘之監督の映画鑑賞会	9月2日(土) 10:00～12:00	141 人
3	男女共同参画社会をつくる豊中連絡会	男女不平等を変えていこう連続講座2017 ①多様な性の存在と生き方の尊重 ②SOSを心に抱えた少女たち	①10月15日(日) 14:00～16:30 ②2018年1月21日(日) 14:00～16:00	95 人
4	「慰安婦」問題の解決を求める北摂ネットワーク・豊中	女性への性暴力をなくすための連続学習会 ①増殖する女性ヘイトと性暴力 ②日本人「慰安婦」からj考える「慰安婦」問題	①11月18日(土) 14:00～16:30 ②2018年1月27日(土) 14:00～16:30	66 人
5	放射能から豊中の市民・子どもを守る会	「放射能から子どもを守る」お話と歌	11月26日(日) 14:00～17:00	50 人
6	団欒長屋プロジェクトだんらんスマイル	ワーキングママの【勇気づけの子育て】講演会＆ワークショップ	11月23日(木・祝) 13:30～15:30	20 人
7	TIFA外国人女性支援プロジェクト	ビルマ(ミャンマー)の難民女性や子どもの現状～軍事政権と民主化の狭間で見えるもの～	2018年2月25日(日) 14:00～16:00	24 人
8	話すレッスンWA	スピーチしてみませんか？大丈夫きっとできます！	11月25日(土) 10:00～12:00	13 人
9	シングルマザーのびやかネット豊中	母子家庭の母と子のエンパワメント 『♪シングルマザーほっとスペース』 ①交流会＆相談会　②豚汁会　③クリスマス会	①8月20日、9月17日、11月19日、2018年1月28日、2月18日、3月18日(日) 14:00～16:00 ②11月5日（日） 10:00～ ③12月17日(日)	81 人
10	ファーストステップ	翻訳冊子「二世の娘」および「乳がんハンドブック」制作	-	- 人

1）すてっぷ登録団体支援

①すてっぷ若い世代支援事業助成金事業の概要と募集

対象	豊中市を活動拠点としているグループ・団体で、10代から40代までの若い世代（以下「若い世代」）の支援を目的に実施する事業、もしくは若い世代が実施する事業
支援内容	1事業につき上限3万円（総額12万円）の助成、施設・設備の提供、広報、運営支援
募集期間	5月13日～6月10日
審査会	実施日：6月18日（日） 白砂 明子（一般社団法人キャリアブリッジ 理事） 山野上 隆史（公益財団法人とよなか国際交流協会 事務局長） 西村 寿子（一般財団法人とよなか男女共同参画推進財団 事務局長）
応募数	12事業
審査結果	4事業を採択

②すてっぷ若い世代支援事業助成金事業　実施状況

総額111,635円を助成

	主催団体	催し	実施日	参加人数（延べ）
1	しょうないガダバ実行委員会	恋するアナタに知って欲しい！あんなこと、こんなこと	10月13日(金) 19:00～21:00	19 人
2	Project M	LGBTを知っていますか？ 「いない」のではなく「見えてない」だけ	11月24日(金) 10:30～12:30	62 人
3	ほくせつママの木	健やかな生活を送るための講座 ①足育講座 ②冷え性に悩む女性のためのセルフケア講座 ③「もしもBOOK」ワークショップ ④カラーセラピー	①10月1日（日） 10:00～11:30 ②10月29日（日） 13:15～15:00 ③11月12日（日） 13:30～15:00 ④2018年2月25日(日) 13:30～15:00	46 人
4	くらしとはたらくを考える会	働くことについて語るとき、わたしたちの語ること	①2018年2月24日(土) 13:30～16:00 ②2018年3月10日(土) 14:00～16:00	32 人

3)自主グループ支援

	グループ名	活動内容	支援期間
1	すてっぴぃ	女性起業の情報交換	2017年7月～2018年6月

・支援内容…支援期間(最大1年)中の貸室無料使用等

4)協賛事業、後援事業、協力事業

協賛事業

	主催団体	催し	実施日	参加人数(延べ)
1	おはなし会「とっとこ」	とっとこおはなし会	2017年4月～2018年3月の第1・3月曜日 11:00～11:30	360 人
2	SMILE編集部	スマイルフェスタ「おさがり交換しましょの会」	5月23日(火) 10:00～11:30	69 人
3	豊中市婦人団体連絡協議会（豊中市教育委員会）	第15回　童謡・唱歌・抒情詩を歌いましょう	6月9日(金) 13:30～15:45	179 人
4	劇団agasa	演劇ワークショップ	9月2日(土) 14:00～16:00	7 人
5	豊中市市民協働部コミュニティ政策課	市民活動ジャンプフェスタ	9月9日(日) 12:00～17:00	829 人
6	関西クィア映画祭実行委員会	第11回　関西クィア映画祭2017	9月17日(日) 13:00～19:00	88 人
7	「波をつくる女たち」シスターウエイブス	2017シニア女性映画祭・大阪	11月11日(土) 11:00～20:00 11月12日(日) 11:00～17:00	154 人
8	とよなか市民文化の会	第12回みんなでつくる市民文化祭	11月26日(日) 13:30～16:00	150 人
9	NPO法人ゴールデンベル	親子リトミック	10月1日、11月12日、12月10日、2018年1月14日、2月11日、3月11日の日曜日 10:00～11:00	14 人
10	あけぼの保育園	赤ちゃんがきた	2018年2月6日、13日、20日、27日の火曜日 9:45～11:45	80 人
11	特定非営利活動法人とよなか市民環境会議アジェンダ２１	第2回ちゃんぷる屋台村	2018年3月17日(土) 11:00～16:00	262 人
12	SMILE編集部	スマイルフェスタ「おさがり交換しましょの会」	2018年3月26日(月) 10:00～11:30	94 人

後援事業

	主催団体	催し	実施日	参加人数
1	豊中に公的子どもオンブズパーソンをつくる会	子どものSOSをキャッチできる大人になるために	2018年2月24日(土) 10:00～12:00	34 人

協力事業

※2017年度は申込みなし

5)市民活動のネットワーク形成・交流

①ＥＳＤとよなか連絡会議

参加団体	公益財団法人とよなか国際交流協会 一般財団法人とよなか男女共同参画推進財団 特定非営利活動法人とよなか市民環境会議アジェンダ21 一般財団法人とよなか人権文化まちづくり協会 特定非営利活動法人とよなかESDネットワーク 人権政策課 人権政策課螢池人権まちづくりセンター 環境部環境政策課 市民協働部千里地域連携センター 教育委員会事務局生涯学習課

②とよなかの市民活動・共同デスク実行委員会

参加団体	公益財団法人とよなか国際交流協会 公益財団法人 豊中市スポーツ振興事業団 とよなか市民公益活動協議体 らっぷ 特定非営利活動法人とよなか市民環境会議アジェンダ21 一般財団法人 とよなか男女共同参画推進財団 社会福祉法人豊中市社会福祉協議会

③男女共生教育連絡会議（仮称）準備会

参加団体	豊中市立小中学校教育研究会（男女共生教育部会） 豊中市人権教育研究協議会 とよなか男女共同参画推進センターすてっぷ（指定管理者一般財団法人とよなか男女共同参画推進財団） 豊中市人権政策課男女共同参画係 豊中市教育委員会事務局人権教育課

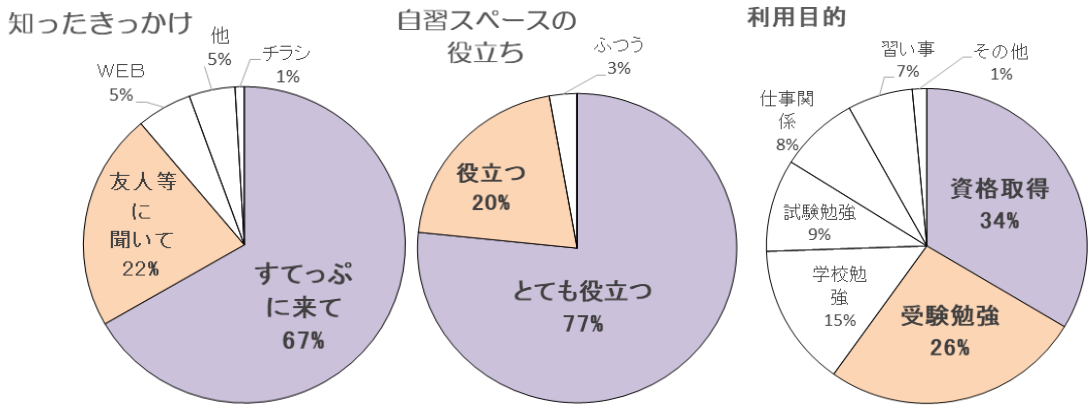
事業名	2017年度「自習室Myすてっぷ」
ねらい	・若年層利用者への働きかけを行うための入口的な事業として位置づける。 ・ロビー利用の若年層の「学習スペース」ニーズに注目し、流動的な若年利用者を定期的な「すてっぷ」利用者として定着させる。 ・地域の若年層の集まる場所としてセンター認知度の向上を図り、頼れる施設すてっぷとして若年層に認知してもらう。 ・ライブラリー図書、事業広報等を通じ、男女共同参画の取組みに触れることで、気づきを促し自身の課題解決の入り口とする。
対象者	就活や資格取得、受験等の勉強をしたい人
計画コード	1111　あらゆる人々の人権を尊重する意識を育む啓発や情報提供を行う。 2311　男女共同参画にかかわる図書、資料等の収集、閲覧、貸し出しを行う。 3361　エンパワーメントに向かうための気づきを促す学習機会・情報の提供を充実させ、各種相談業務との連携を強化する。
実施日等	土日祝、春・夏・冬休み期間中の連続した日程。10:00～17:00まで(空室がない場合は開催なし)
内容	空室を「学習スペース」として開放し、机0.5台イス1脚を提供する。 対象は、情報ライブラリーカードを持っている利用者とする。毎回の利用受付は、総合カウンター前特設受付コーナーにてのセルフ受付とする。室内には主催事業広報と若年層向け選書ブックトラックを設ける等、男女共同参画センターの循環利用を促す工夫をする。ライブラリー－自習利用との連携を図る。
場所	すてっぷ貸室

定員	16～42　人	応募人数	―　人	今年度に情報ライブラリーカード新規発行による利用の延べ人数	721　人
参加人数	1857　人　（女　905 人　男　952 人）				

Myすてっぷロゴ

Myすてっぷ会場

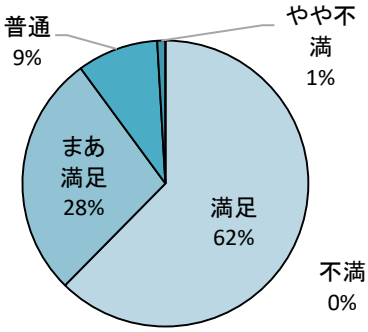
自習の様子

利用者の年代	10代57.8%、20代7.4%、30代7.4%、40代12.4%、50代11.8%、60代以上3.2%
期間限定実施のアンケート結果 回収:109枚 実施期間: 8/1～8/22	

ねらいに対しての成果	・若者の特徴である口コミで本事業が広がっているようで、頼れる施設すてっぷとして、地域の若年層の集まる場所として、センター認知度が向上してきたと考える。今年度に新たにカード発行して自習利用を開始した人は、延べ721人であり、若年層を多く含む多様な利用者の居場所として定着してきた。 ・アンケートから、ライブラリー自習利用との併用者は63%であり、自習目的以外ですてっぷを利用(講座や図書貸出等)したことのある人は38%であったことからも、循環利用の様子が見える。男女共同参画の取組みに触れる機会も増え、そこからの気づき等により、自分自身の課題解決のための入り口として施設すてっぷを認識してもらえているのではないかと考える。 ・将来的に、定期利用者として、また、悩みや困ったときの相談窓口としてインプットされることでの利用の可能性も秘めている。

事業名	ツキイチすてっぷ				
ねらい	・「講座」「相談」という枠組みではなく、「楽しく気軽に参加」できる「場」をつくり、施設を活用した居場所とする。 ・取り組みを通して、気軽に参加し、普段出会わない人に出会い、語りあえるセンターとしての認知をしてもらう（居場所から貸室、講座、相談、ライブラリー利用への流れを意識する）。 ・部署間の協力事業とする。				
対象者	限定しない				
計画分類番号	1231　性に関する学習機会の充実 1431　文化創造・表現活動における男女共同参画への配慮 2131　男女共同参画を推進する学習活動の充実				
実施日等	①4月22日（土）14:00～16:30、②5月21日（日）14:00～16:30、③7月16日（日）14:00～15:30 ④9月10日（日）14:00～15:30、⑤10月22日（日）11:00～12:00、⑥11月4日（土）11:00～12:00 ⑦12月22日（金）18:30～21:00、⑧2018年1月14日（日）14:00～16:30				
内容	①「グロリアの青春」上映＋おしゃべり会、②「何を怖れる」上映＋おしゃべり会、③④いすヨガ＋カフェタイム、⑤ブックトーク（泣ける絵本）、⑥ブックトーク（笑える本）、⑦⑧セルフネイルdeおしゃべり				
講師	いすヨガ：　鷲崎環（日本ヨーガ療法学会認定ヨーガ療法士）				
定員	なし（いすヨガのみ先着15人）	応募率	％	出席率	％
応募人数	人（女性　人　男性　人）	参加人数	延160　人（女性　150　人　男性　10　人）		

＜いすヨガの様子＞

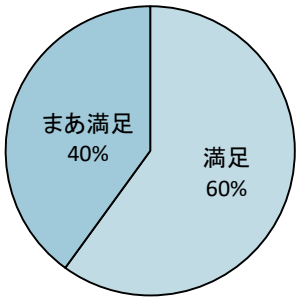


＜満足度＞

参加者の声	シネマ…色々な女性の生き方が分かり、勉強になった。 いすヨガ…一時間だけでも自分の体に向き合うことができてよかったです。 ブックトーク…本をツールに人とつながることは楽しい。 ネイル…みなさんとお話しつつ、ネイルのことも色々と教えてもらえたり、ネイルができ楽しかったです。
ねらいに対しての成果	・申込み不要のため気軽に参加できたようだった。通りすがりに参加した人もいた。 ・多目的コーナーの活性化につながった。 ・参加者に情報ライブラリーや相談室の紹介ができた。シネマ参加者が関連本に興味を持つなど、相互利用につながった。 ・今後も継続することで利用者にツキイチすてっぷが定着し、すてっぷ内で部署間連携も密になると考えられる。

事業名	市民活動ビギナーズ講座～助成金申請のポイント				
ねらい	・すてっぷを利用していない市民団体に男女共同参画推進の視点を意識した活動を促し、若い世代支援事業助成金事業への申請につなげる。 ・これまで助成金事業に申請していない、申請しても運営に課題を感じているすてっぷ登録団体が企画力と申請力を向上する。				
対象者	すてっぷ登録団体、豊中市内で市民活動している団体				
計画分類番号	2131　男女共同参画を推進する学習活動の充実 2411　男女別統計による統計調査の充実				
実施日等	6月3日（土）　14:00～17:00				
内容	・男女共同参画推進と市民活動 ・企画の立て方と助成金事業申請のポイント				
講師	西村寿子　（財団事務局長） 横山佳代子　（とよなか市民公益活動協議体らっぷ）				
定員	25　団体	応募率	24.0　%	出席率	120.0　%
応募人数	5　人（女性　4　人　男性　1　人）	参加人数	6　人（女性　5　人　男性　1　人）		

＜作成した申請書を互いに読み合う参加者＞

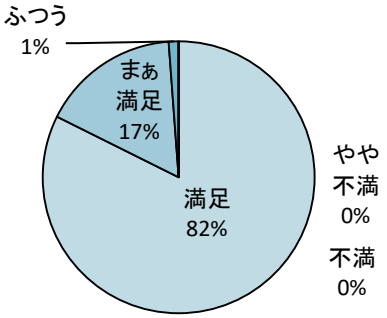


＜満足度＞

参加者の声	・まだ団体は作っていないのですが、目標とするところ、軸にするところが見えてきてよかったです。メンバー間でも共有していきたいです。（烏合の衆では意味がないので） ・手厚い内容で、とてもよかったです。 ・勉強になりました、ありがとうございました。
ねらいに対しての成果	・若い世代支援助成金事業への応募を検討している団体が参加し、各団体の活動と男女共同参画を関連づける視点を学び、それを企画や申請書に組込むことを体験できた。 ・参加者は登録団体から2団体、これまですてっぷを利用したことのない団体が4団体であった。

事業名	2017年度　男女共同参画週間事業・講演会 『魂の退社』から1年～50歳・シングル・無職という冒険～				
ねらい	・シングル女性の生き方を、当事者自身はもとより周囲も肯定しエンパワーする。 ・シングル女性へのすてっぷ認知度を向上させる。				
対象者	シングル女性およびシングルで生きることに関心のある人				
計画分類番号	1111　人権意識の高揚をめざす啓発の推進 1231　性に関する学習機会の充実				
実施日等	6月24日（土）14:00～16:00				
内容	シングル女性としてポジティブに生きる講師の話をとおして、女性がジェンダーのとらわれに気づくことで楽になり、自分自身や自分の生き方を肯定できるようになる。				
講師	稲垣えみ子　（元朝日新聞記者）				
定員	100　人	応募率	150.0　%	出席率	134.0　%
応募人数	150　人（女性　127　人　男性　23　人）	参加人数	134　人（女性　114　人　男性　20　人）		

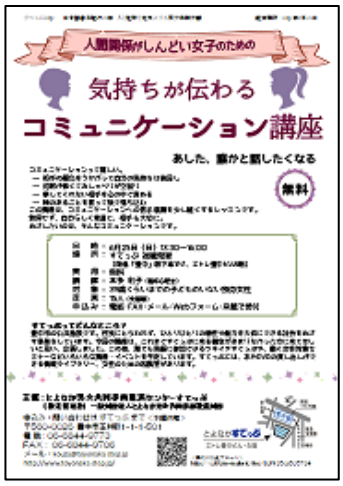
＜職員の質問に答える講師とそれを聞く参加者＞



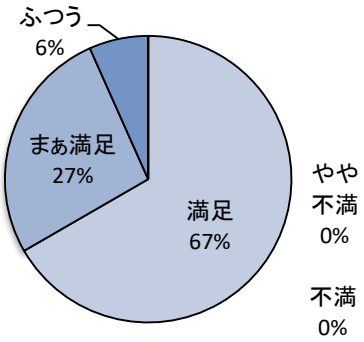
＜満足度＞

参加者の声	・テーマも稲垣さんの話も良かったです。生き方、考え方に感銘を受けました。これからも、おひとり様シニア向けの講座を開いてください。 ・全てにおいて気負いがなく自然思考な稲垣さん。ますます好感をもちました。介護のお話もとても印象的でした。世間が勝手に男と女の役割を勝手に決めつけているのかもしれません。 ・私も5月末に14年勤務した会社を退職しました。40代シングルというところも親近感があって今後生きていく上で、何かヒントがもらえるかもと思って参加しました。持たない生活が人間としてとても豊かなものになっている、充実したくらしをされていることがよく分かり、大変面白くお話が聞けて嬉しかったです。
ねらいに対しての成果	・講師自らの体験に基づく話や退職後の暮らしぶりの話から、シングル女性が自分らしい生き方を選ぶことを多くの参加者が肯定的に受け止めることができた。 ・定員とキャンセル待ちを上回る人数の申込みがあり、すてっぷを利用したことの無かった人が30%を占めた。

事業名	人間関係がしんどい女子のための 気持ちが伝わるコミュニケーション講座				
ねらい	＜主旨＞ 生きづらさ・働きづらさを感じている若年女性のエンパワメント ＜ねらい＞ ①コミュニケーションの苦手意識を和らげる ②参加者同士の交流 ③すてっぷおとなGirls部への参加につなげる				
対象者	39歳くらいまでの子どものいない独身女性				
計画分類番号	2131　男女共同参画を推進する学習活動の充実 3141　若者や中高年の就労等の支援 3361　エンパワーメントに関する学習機会、情報提供の充実				
実施日等	6月25日（日）　13:30～16:00				
内容	コミュニケーションへの苦手意識の解消 参加者同士の交流				
講師	本多　利子　　（臨床心理士、クッキングセラピー“工房カモミール”主宰）				
定員	15　人	応募率	140.0　%	出席率	106.6　%
応募人数	21　人（女性　21　人　男性　0　人）	参加人数	16　人（女性　16　人　男性　0　人）		



＜講座の様子＞



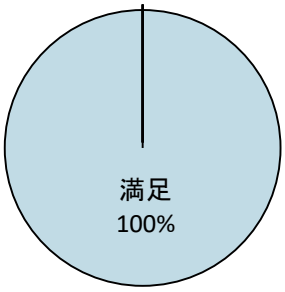
＜満足度＞

参加者の声	・初めて会った人と話すことに緊張することもありましたが、有意義な時間を過ごすことが出来ました。 ・家族以外の人と久々に会話できた。 ・コミュニケーションは「人とつながる」とか「何を話すか」とかにばかり意識がいって苦手に思っていたけど、意識するとこはそこではないと知りました。やり方を教えて頂いたので、また深めていけたらと思います。けっこう発言したし、ほんわりした気持ちになっているので驚きです。よりよい自分になっていきたいです。
ねらいに対しての成果	①ワークを通じて、コミュニケーションを普段とは異なる角度からとらえなおしてもらえた。 ②途中でカフェタイムを取り、参加者同士で交流してもらった。ワークで打ち解けたため、講座修了後も残って話をしたり連絡先を交換したりしていた。 ③参加者のうち8人が次回の「スイーツづくり」へ申し込んだ。さらに8月以降のおとなGirls部交流会へつなげていく。

事業名	クッキングセラピー「みんなでいっしょにスイーツづくり」
ねらい	＜主旨＞ 生きづらさ・働きづらさを感じている若年女性のエンパワメント ＜ねらい＞ ①料理をツールとし、共同で作業する過程で参加者同士の交流をはかる。 ②6月実施のコミュニケーション講座参加者のアフターフォロー。安心できる交流の場を提供し、コミュニケーションへの苦手意識の軽減をはかる。 ③すてっぷおとなGirls部への参加につなげる。
対象者	生きづらさ・働きづらさを感じている39歳くらいまでの子どものいない独身女性
計画分類番号	2131　男女共同参画を推進する学習活動の充実 3141　若者や中高年の就労等の支援 3361　エンパワーメントに関する学習機会、情報提供の充実
実施日等	7月23日（日）　10:30～13:30
内容	料理を通じた参加者同士の交流
講師	本多　利子　　（臨床心理士、クッキングセラピー“工房カモミール”主宰）

定員	15　人	応募率	100.0　%	出席率	73.3　%
応募人数	15　人（女性　15　人　男性　0　人）	参加人数	11　人（女性　11　人　男性　0　人）		

＜スイーツをつくりながら交流する参加者＞

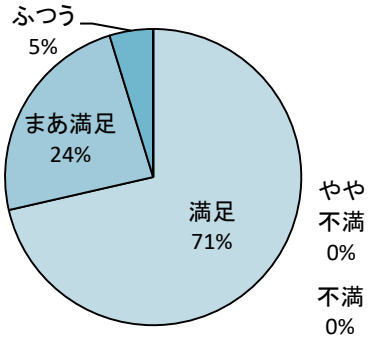


＜満足度＞

参加者の声	・スイーツをつくって年代も違う人とお話しできて楽しかったです。 ・人とふれあうことでなごやかになれました。 ・久々に大勢で料理できたので楽しかったです。 ・一緒に料理した人たちといろいろ話せてよかった。 ・10代、20代の人とコミュニケーションをとれてよかったです。先生とも話せてよかったです。
ねらいに対しての成果	・アンケートでは全員が「不安やしんどいと感じることがある」と答えており、そうした生きづらさ・働きづらさを感じている女性に安心して交流できる場を提供できた。 ・参加者のほとんどが前回のコミュニケーション講座に参加しており、継続して集まることで関係性が築けたようだった。 ・料理をツールとすることで打ち解けやすくなり、終了後に連絡先の交換や後日会う約束をしている参加者がいた。

事業名	TOEIC対策講座				
ねらい	・賃金格差や非正規雇用という困難を抱える状況下にある女性の具体的な就労やキャリアアップに結び付くよう技術・資格取得を支援する。 ・英語によるコミュニケーション能力を評価するTOEICテストに向けた学習をすることで、仕事に活かせる英語や自分をきちんと表現できる英語を身に着けキャリアアップをめざす。今講座ではTOEIC600点レベルをめざす。				
対象者	一般				
計画分類番号	3131　女性への就労支援				
実施日等	7月1日、8日、15日、22日、29日、8月5日、19日、26日の土曜日　10:00～12:00（全8回） ※予備日9月2日				
内容	TOEICスコア600に向けた学習				
講師	江口 こずえ　（英語講師）				
定員	30　人	応募率	126.6　%	出席率	82.8　%
応募人数	38　人（女性　26　人　男性　12　人）	参加人数	29　人（女性　24　人　男性　5　人）		

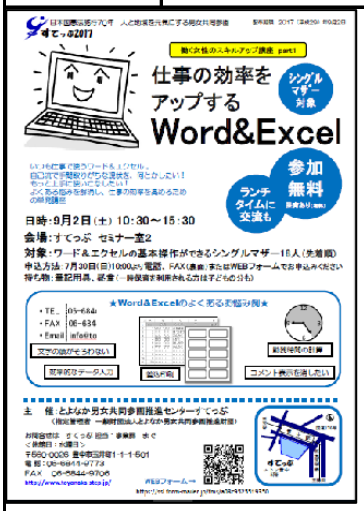
＜講座の様子＞



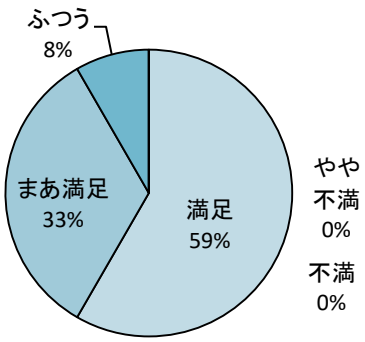
＜満足度＞

参加者の声	・今回TOEICを初受験したが、事前にこの講座を受けていたのでテストの流れや問題がわかり、助かりました。また、土曜日に子どもを預けて勉強時間を確保できる口実ができ、大変助かった。先生もとても感じがよく分かりやすくてよかったです。 ・細かいヒントをもらえて独学では学べないことがたくさんありました。 ・英語のみならず受験技術、勉強の仕方まで丁寧に教えていただきました。
ねらいに対しての成果	・TOEICの学習方法を各パートにわけて学習してもらえた。講師より、講座終了後も独学で学べるように学習方法なども伝えてもらえた。 ・昇格をめざしている人や英語が必要とされる仕事に就きたい人の参加があり、再就職やキャリアアップに活かしてもらえた。

事業名	働く女性のスキルアップ講座 part1 仕事の効率をアップするワード＆エクセル				
ねらい	・働く女性が意欲的に仕事に取り組めるようになる。 ・働く女性の就業継続や今後のキャリア展開につながる。 ・シングルマザーが負担なく自己啓発できる。				
対象者	現在働いておりワード＆エクセルの基本操作ができるシングルマザー				
計画分類番号	2131　男女共同参画を推進する学習活動の充実 3131　女性の就労支援 3152　さまざまな困難を抱える人々の自立支援				
実施日等	9月2日（土）　10:30～15:30＜ランチ休憩60分含む＞				
内容	働く女性のパソコンスキルの向上 シングルマザー同士の交流				
講師	元木亜希子他　　ヴェルジェム				
定員	18　人	応募率	83.3　%	出席率	72.2　%
応募人数	15　人（女性　15　人　男性　0　人）	参加人数	13　人（女性　13　人　男性　0　人）		



＜Excelの操作を学ぶ講座生＞

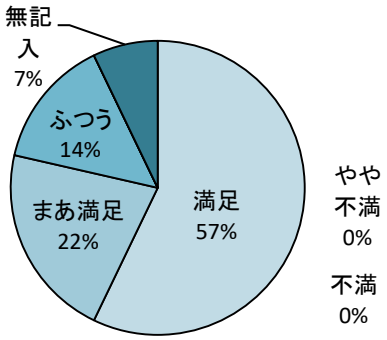


＜満足度＞

参加者の声	・忘れていた使用方法を思い出したり、今までよく分かっていなかった機能の使い方がよく分かるようになり（ex：目次の整え方）助かりました。また今回知りたかった簡単にカレンダーを作る方法（特に曜日を簡単に入力する方法）を取り上げて下さり、ありがとうございました。早速職場で活用したいと思います。 ・実戦的な内容でとても為になりました。小技も多くて、驚きの連続でした。丁度良いレベルでした。ありがとうございます。昼食の交流も楽しかったです。 ・今まで自己流でしていたこと、本をみてもわからないことが直接教えていただき、よくわかりました。ありがとうございました。
ねらいに対しての成果	・高い満足度から、PCのスキルアップを希望する参加者のニーズに応えることができた。 ・最初に隣同士の席で自己紹介をし、全体への他己紹介を行ったことで、同じ業種である同じ地域に住んでいるなど共通点がわかり交流が促進され、昼食タイムの交流にも自然な形でつながった。

事業名	働く女性のスキルアップ講座 part2 仕事の効率をアップするタイムマネジメント				
ねらい	・働く女性が仕事に対して「やらされている」と感じるのではなく、主体的に取り組めるようになる。 ・働く女性の就業継続や今後のキャリア展開および人間らしい暮らし方につながる。				
対象者	段取り力をアップして仕事時間の見直しをしたい女性				
計画分類番号	2131　男女共同参画を推進する学習活動の充実 3131　女性の就労支援 3152　さまざまな困難を抱える人々の自立支援				
実施日等	10月7日（土）　14:00～16:00				
内容	仕事のタイムマネジメント				
講師	森野和子　　株式会社ライフキャリアデザイン・アソシエイツ　代表取締役				
定員	30　人	応募率	66.6　%	出席率	50.0　%
応募人数	20　人（女性　20　人　男性　0　人）	参加人数	15　人（女性　15　人　男性　0　人）		

＜講師の説明を聞く参加者＞

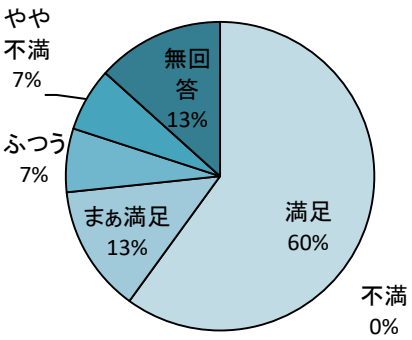


＜満足度＞

参加者の声	・楽しかった。宿題のワークシートはこれから働く私にとても有効でした。講座でさらに具体化されて意欲がわいてきました。 ・始められる小さなことは、私が新卒で勤務した所の上司から教えてもらったことがかなり重複していました。尊敬していた人で現在の私の仕事の仕方のベースにもなっています。ぶれる事なく小さい事からでも1歩づつ前進していきたいです。 ・常日頃から思っていることが、時短につながるということを改めて実感しました。
ねらいに対しての成果	・受け身でなく主体的な働き方ができれば、女性の働く意欲も高まることがアンケート結果からも確認できた。 ・すてっぷ主催講座では珍しく有料（参加費500円）で、事前課題も課されたが、強い関心を持つテーマを設定できれば一定の参加者数が見込めることがわかった。 ・参加者全員が豊中市内在住者であり、市民ニーズにも対応できた。

事業名	すてっぷゼミナール2017 part1 尊重しあえる夫婦・パートナー関係～傷つけない・傷つかないコミュニケーション～				
ねらい	・参加者は、暴力的な関係の問題点と互いを尊重する人間関係について考え学ぶ。 ・豊中市で10月にスタートする予定の配偶者暴力相談支援センターを周知し、悩んでいる人に相談利用を促す。				
対象者	テーマに関心のある女性				
計画分類番号	1311　豊中市DV対策基本計画の推進 1352　あらゆる暴力根絶のための啓発推進				
実施日等	10月21日（土）　13:00～16:00（3時間）				
内容	・夫婦・パートナー間でおこる支配とコントロールの関係の特徴を学ぶ ・暴力には、身体的なもの以外に、精神的、経済的、性的なものがある ・精神的な暴力とコミュニケーションの関係 ・コミュニケーションパターンを見直し、アサーティブなコミュニケーションを体験する				
講師	加藤伊都子　　フェミニストカウンセリング堺				
定員	20　人	応募率	105.0　%	出席率	75.0　%
応募人数	21　人（女性　21　人　男性　0　人）	参加人数	15　人（女性　15　人　男性　0　人）		

＜夫婦間のコミュニケーション例を説明する講師＞

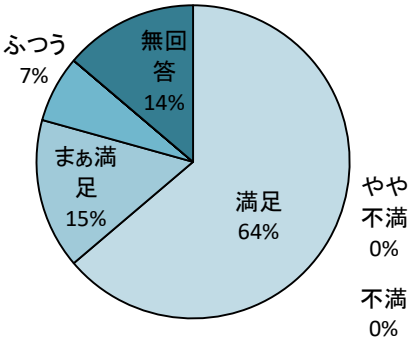


＜満足度＞

参加者の声	・客観的に考えることができた。説明が難しくなく、非常にわかりやすかったです。 ・ワークを通して、自分の気持ちを見つめなおすことができたと思います。参加者の方の色々なお話も聞けて、色々な夫婦の段階での悩みを一緒に考えることができて勉強になりました。 ・自分のコミュニケーション、相手のコミュニケーションのパターンが分かった。沢山気付いた事があって、夫だけでなく、子どもに対しても、それを実践していきたい。
ねらいに対しての成果	・夫婦間のコミュニケーションで悩み、関係を改善したいというニーズに合った企画で、定員を上回る応募があった。 ・ワークをすることで、自分のコミュニケーションを客観的に見直すことができた。 ・夫婦間のコミュニケーションの問題は、話し方だけでなくジェンダーを背景にした価値観の違いや力関係が影響していることも学べた。 ・10月からスタートした豊中市配偶者暴力相談支援センターやすてっぷ相談室の紹介もできた。

事業名	すてっぷゼミナール2017　part2 暴力にさらされる少女たちと共に生きる～著書『裸足で逃げる』での出会いから 後援あり（公益財団法人とよなか国際交流協会・一般財団法人とよなか人権文化まちづくり協会）				
ねらい	・参加者は、暴力的な関係の問題点と暴力にさらされる少女たちへの支援について考え学ぶ。 ・豊中市で10月にスタートする予定のすてっぷガールズ相談を周知し、悩んでいる人に相談利用を促す。				
対象者	子ども若者支援に関わる人・教職員・テーマに関心のある人				
計画分類番号	1111　人権意識の高揚をめざす啓発の推進 1311　豊中市DV対策基本計画の推進 1315　豊中市DV対策基本計画の推進 1351　あらゆる暴力根絶のための啓発推進				
実施日等	11月24日（金）　14:00～16:00				
内容	子ども若者支援に関わる人や大人たちが、暴力にさらされる少女たちの側に踏みとどまり彼女たちの話を聴き続けるために必要なことを、『裸足で逃げる－沖縄の夜の街の少女たち』の著者である講師の話から学び考える。				
講師	上間陽子　　琉球大学教授				
定員	80　人	応募率	113.7　%	出席率	112.5　%
応募人数	91　人（女性　70　人　男性　21　人）	参加人数	79　人（女性　60　人　男性　19　人）		

＜壇上で講演する上間さん＞

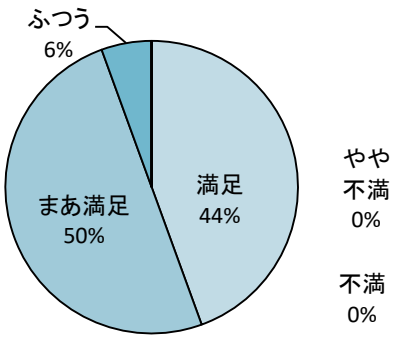


＜満足度＞

参加者の声	・とても興味深くきかせていただきました。あっという間の2時間でした。就労支援をしている中で、すさまじい虐待やDVを生き抜いてきた方たちに接することもあり、「自分に何ができるだろう」と問いかけることも多くあります。自分の価値観を横において、目の前の相談者に安心して話してもらえるよう心がけていきたいと思います。 ・子どもの貧困、セックスワーカーとして、働かざるをえない女性の話がよく理解できた。なぜ孤立していくのかの理由や群れる友達がいるということが、子どもには必要なのだなぁとつくづく思いました。支援の場所が人にひろがればいいなと思いました。 ・セックスワーカーの存在は、女性差別の凝縮した姿だと思う。その世界に身を置く若年者の思いの一端を聞かせていただけた。「学校の役割」というまとめ方は上間さんのとらえ方だと思うが、現場の学校にその思いが伝わるか心配だ。
ねらいに対しての成果	・重いテーマで平日午後の実施ではあったが、予想を上回る申込があり、若年女性問題へのニーズが確認できた。 ・すてっぷで新たにスタートしたガールズ相談を周知できた。更に、暴力にさらされる少女たちへの支援や連携の必要性を参加された豊中市で支援に関わる人とも共有できた。 ・支援者が当事者に関わる際に、相手を尊重し傾聴に徹する真摯な姿勢によって関係性が継続することを共有できた。

事業名	CMと多様な性Ⅱ　メディアと固定観念				
ねらい	・メディアからの情報に対して主体的に向き合うことは、自らのステレオタイプを見つめ、一人ひとりが自分らしく生きていくことにつながることを学んでもらう。 ・コマーシャルの分析を通じてジェンダー・ステレオタイプと多様な性のあり方や自分との関りを考える機会にする。 ・教員に参加を呼びかけ、授業で取り入れられるように素材の選択、分析シートの使い方、学びの場の作り方について伝える。				
対象者	関心ある市民、教員、多様な性を自認している人々・理解者				
計画分類番号	1422　メディア・リテラシーの向上 2122　若年層に対する男女平等教育のより一層の推進 2131　男女共同参画を推進する学習活動の充実				
実施日等	2018年2月4日（日）　10:00～12:00				
内容	コマーシャルの分析を通じて多様な性のあり方を身近に考える。				
講師	五十里元子（南河内メディアリテラシー研究会）、藤井玲子（高校教員）				
定員	20　人	応募率	110.0　%	出席率	100.0　%
応募人数	22　人（女性　15　人　男性　7　人）	参加人数	20　人（女性　14　人　男性　6　人）		

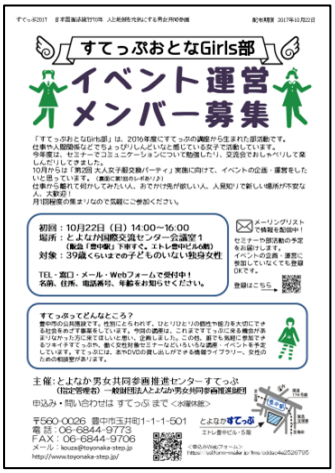
ワークの様子



＜満足度＞

参加者の声	・自分の価値観の偏りに気づけるよい機会でした。メディアの読み解き方のヒントをたくさんいただきました。 ・メディア・リテラシーの視点でCMを読み解き、その声を届けていくことの必要性を感じた。今日の60秒のCMの中でも多様性に見えてそうでもないことが見えてきて興味深かった。 ・一般市民に向けて楽しくこういうテーマを考える場があるのはよいと思います。 ・自分の中のステレオタイプに気づきました。
ねらいに対しての成果	・CMの分析と話し合いを通じて、メディアに含まれるステレオタイプ、自分の中にあるステレオタイプの両方について考えてもらえた。 ・メディアを視聴する側が分析し、メディアに対して意見を伝えることが可能だと知ってもらえた。 ・小学校、中学校の先生の参加があり、人権学習の参考になるCM分析の考え方や方法を持ち帰ってもらえた。

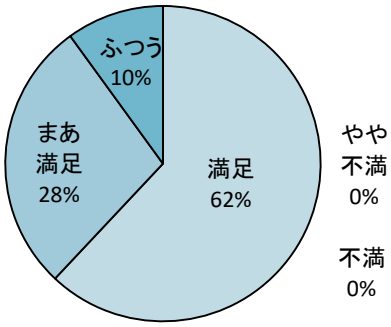
事業名	市民企画「おとな女子服交換会」イベント運営メンバー募集				
ねらい	・若年女性対象講座から継続して集まれる場を提供する。 ・同じ目標に向かって取り組むことでコミュニケーションを取りやすくし、参加者同士の悩みの共有や孤立感の解消につなげる。 ・参加者自身がイベントを企画・運営することで、受け身ではなく主体的に参画し、達成感や自信を得られるようにする。 ・前年度の市民企画委員に中心メンバーになってもらい、グループ化をめざす。				
対象者	生きづらさ・働きづらさを感じている39歳までの子どものいない未婚女性				
計画分類番号	3141　若者や中高年の就労等の支援 3211　互いに力を高め合うグループづくり				
実施日等	11月5日、11月26日、12月17日、2018年1月28日、2月18日の日曜日　14:00～16:00、 3月3日(土)14:00～18:00				
内容	イベントの企画・運営を通じた若年女性のエンパワメント				
講師	なし				
定員	なし　人	応募率	－　%	出席率	44.4　%
応募人数	6　人(女性　6　人　男性　0　人)	参加人数	6　人(女性　6　人　男性　0　人)		



参加者の声	(口頭での振り返りより) ・今回もイベントが大勢の参加者でにぎわってよかった。 ・イベント準備で体を動かして、疲れたが気持ちがよかった。 ・自分の体調と相談しながら参加できた。
ねらいに対しての成果	・前回の運営メンバーが中心になって、新規の人と話し合いながらイベントに向けた準備を進めることができた。特に前年度からのメンバーは前日の準備を提案したり、イベント内でピアノ演奏をしたいと希望したり、積極的に関わっていた。イベント実施後は打ち上げをする等、メンバー同士の交流も進んだ。 ・会議は職員が入って調整している部分が多く、出席も安定しないため、無理に自主グループ化をめざさず、交流会等の形で気軽に参加できる居場所として継続した方がいい。

事業名	市民企画講座「おとな女子服交換パーティ」				
ねらい	・若年女性対象講座の参加者自身が市民企画委員としてイベントを企画・運営し、受け身ではなく主体的に参画することで、達成感や自信を得られるようにする。 ・若年女性が興味を持ちやすいファッションのイベントを実施することで、普段すてっぷに来る機会がない層への周知につなげる。				
対象者	女性				
計画分類番号	3141　若者や中高年の就労等の支援 3211　互いに力を高め合うグループづくり				
実施日等	2018年3月4日(日)13:30～15:00				
内容	イベントの企画・運営を通じた若年女性のエンパワメント 若年女性層へのすてっぷの周知				
講師	なし				
定員	なし　人	応募率	－　%	出席率	71.5　%
応募人数	95　人(女性　95　人　男性　0　人)	参加人数	68　人(女性　68　人　男性　0　人)		

イベントの様子



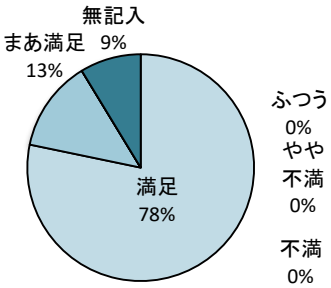
＜満足度＞

参加者の声	・たくさんの服があり気に入ったものを見つけることができました。着なくなった服を誰かに着てもらえて、他の人が着なくなった服や小物をもらえて、リサイクル、こんなすてきなことはないと思います！ またぜひお願いします。 ・もっと持って来ればよかったと思います。来年もこのイベントに参加したいぐらいいいイベントだと思います。 ・前後のお手伝いなどがあればしたいと思いますので、もし人手が足りないときは告知いただければと思います。
ねらいに対しての成果	・若年女性対象講座の参加者が運営に関わり、イベントの準備から実施まで取り組んだ。運営に関わらなかった人も、イベント参加者として来館してくれた。 ・アンケートに答えた参加者の半数が20代～40代だった。イベントをきっかけに若い層にすてっぷの存在を知ってもらえた。 ・前回からのリピーターもいて、イベントそのものが好評だった。

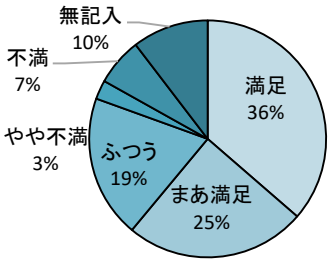
事業名	すてっぷフェスタ2018
ねらい	＜全体＞ 豊中市における男女共同参画推進の拠点施設としてより多くの市民に知ってもらう機会とする。すてっぷ主催講演会を軸に、登録団体等の活動を市民に発表し、活性化につなげる。 ＜講演会＞ 性別で区別するのではなく個人の能力や個性を尊重しながら責任を分かち合える社会になることは、誰にとっても生きやすい社会につながることを伝える。固定的な性別役割分担について、一人ひとりがどこか社会慣行として受け入れてしまっていることを意識し、多様な生き方があることに気づくきっかけとする。
対象者	一般
計画分類番号	2131　男女共同参画を推進する学習活動の充実 3231　男女共同参画を推進する団体・グループ等への支援
実施日等	2018年3月10日(土) 10:00～16:00
内容	講演会：落語とお話「女らしくなく 男らしくなく 自分らしく」 登録団体の催し：活動発表、バザー等、ロビーでの出店：起業セミナー修了生、登録団体、えーぜっとすてっぷ登録団体事業助成金事業、すてっぷ若い世代支援事業助成金事業の報告会 情報ライブラリーでのリサイクル本の配布
講演会講師	露の団姫　（落語家・僧侶）

講演会定員	80　人	講演会応募率	131.2　%	講演会出席率	92.5　%
講演会応募人数	105　人（女性　90　人　男性　15　人）	講演会参加人数	74　人（女性　64　人　男性　10　人）		
リサイクル本配布参加人数	77　人（女性　51　人　男性　22　人　その他　4　人）	※自由入場の人数はカウントせず			

＜満足度（講演会）＞



＜満足度（リサイクル本配布）＞

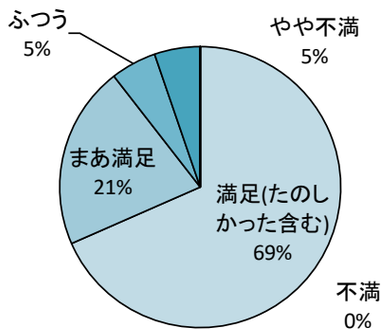


参加者の声	＜講演会　アンケートより＞ ・露の団姫さんの生の落語とお話、豊来家大治朗さんの素晴らしい芸を魅せていただき感激でした。今日学ばせていただいたことを生徒たちに還元していきます。 ・自分らしく生きていきたいと思いました。 ＜リサイクル本配布　アンケートより＞ ・読みたいと思う本に出会えてうれしかったです。 ・ふだん読まない本に出会えた。
ねらいに対しての成果	＜全体＞ 多彩な催しを通じて市民にすてっぷの存在や取組みを知ってもらえた。すてっぷで活動している登録団体以外のサークルや若い世代事業助成金事業の実施団体も発表し、広がりが出た。 ＜講演会＞ 講師の実体験を交えて、性別にとらわれず自分らしく生きることをわかりやすく伝えてもらえた。

事業名	子どもも大人も　みんなで楽しく 体験！避難所運営ゲーム(HUG) 後援あり(豊中市危機管理課・公益財団法人とよなか国際交流協会)
ねらい	・避難所運営ゲーム(HUG)というワークを通して、多様な背景を持つ人々が安全で安心な避難生活を過ごすために何が大切かを参加者同士で話し合いながら考える。 ・普段は地域と関わる機会の少ない人(働く男女や単身者や子ども)が地域と関わるきっかけとなる。 ・防災活動についての情報交換の機会とする。
対象者	地域と関わりの少ない人、まちづくりに関心のある人、小学校5年生以上の子どもも参加可　等
計画分類番号	2241　地域団体等に対する男女共同参画にかかわる研修の充実 3173　男女共同参画の視点を取り入れた防災・災害対応の推進
実施日等	2018年3月11日(日)　13:30～16:30
内容	1)豊中の取組み紹介＜15分＞　※ゲストスピーカー 2)避難所運営ゲーム(HUG)＜165分＞　※講師 ※イラストふりがなバージョンを使用 ①過去の災害について説明 ②ゲームの説明 ③ゲーム進行(ファシリテータ:各班に女性防災士1人) ④各班別まとめ ⑤講師まとめ
講師	横山 恭子　特定非営利活動法人 日本防災士会　女性防災推進局 理事
ゲストスピーカー	仲峰子　刀根山・蛍池自治会連合自主防災会　相談役

定員	20　人	応募率	125.0　%	出席率	100.0　%
応募人数	25　人(女性　16　人　男性　9　人)	参加人数	20　人(女性　12　人　男性　8　人)		

＜講師によるゲームの説明を聞く参加者たち＞

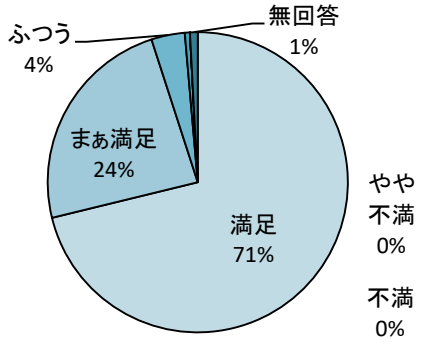


＜満足度＞

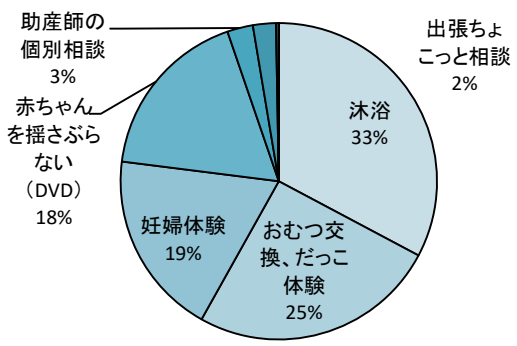
参加者の声	・さいがいがおきて、ひなんして、なにがもんだいかなどをおきるかがわかってよかったです。 ・本当におこった時にどうたいおうするかとてもまよってしまうなと思いました。しょう害がある人はどうしよう高れい者はどうしようそんなことを考えているうちに、外にはたくさんの人が来てしまうそんなことを今回のこうざで学びました。 ・実際に大人の人に教えてもらいながらやってみることで新しく学べることや工夫などもだんだんみつかりました。もしも災害がおこったときは私達も役に立てるようにがんばろうと思いました。 ・避難所、自分の中では想定外でした。今後、考えていかなくてはいけないことだとつくづく感じました。ありがとうございました。 ・子ども(ガールスカウト)と一緒は楽しく出来ました。子どもの発想も大人の発想も必ず聞き入れる。発案の分、答えがある。
ねらいに対しての成果	・避難所運営ゲーム(HUG)というワークを通して、災害時の避難生活を参加者同士で話し合いながら具体的に考えられた。 ・ガールスカウトの団体申込みによる小学生の参加や防災に関心のあるNPO職員などの参加により、避難所運営ゲームで多様な意見が出た。 ・刀根山・蛍池自治会連合自主防災会と連携したことで、豊中市内の防災活動情報を参加者に知ってもらえた。

事業名	両親教室 豊中市　健康福祉部　保健所　健康増進課　との共催
ねらい	・父親に対する積極的な育児・家事への参加意欲の促進。 ・すてっぷ出張相談「ちょこっと相談」により、女性の就労継続を支援する。 ・男女共同参画について知る機会の提供、男女共同参画の理解を深める。 ・これから子育てをはじめる層へ、すてっぷの周知、活用、来館を促す。
対象者	初めての出産を迎える妊婦と夫など
計画分類番号	4336　仕事と家庭生活等の両立を支える子育てサービスの拡充 4351　男性の家庭及び地域への参画の推進 4352　男性の家庭及び地域への参画の推進
実施日等	4月22日、6月24日、8月26日、10月21日、12月16日、2018年2月24日の土曜日　①9:45～11:45、②13:15～15:15
内容	＜内容＞ 沐浴実習、妊婦の疑似体験、ビデオ上映、着替え、保健師・助産師個別相談、出張ちょこっと相談（相談は希望者のみ利用） ＜進行＞ ・参加者をグループに分け、沐浴実習、妊婦の疑似体験、ビデオ上映、着替えのコーナーを一巡する。
講師	助産師　（大阪府助産師会）

定員	60　組　（各回）	応募率	84.4　%	出席率	82.1　%
応募人数	608　組（女性　608　人　男性　608　人）	参加人数	598　組（女性　600　人　男性　582　人）		



＜満足度＞



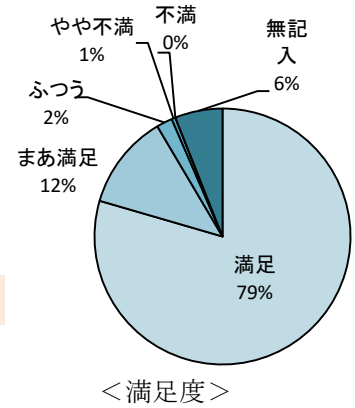
＜参考になった体験など＞

参加者の声	・父親をメインに参加してもらうというのが良かったです。勉強になりました。ありがとうございました。 ・パパが来て良かったって言ってくれました。体験は楽しく役にたちました！！今日のこと思い出して頑張ります。 ・もう少し相談ブース等を増やして欲しーと感じました。市としてこのような場を設けてくれた事には凄く感謝です。また、相談しに行きたくても遠いので出張相談を活用したいと思いました ・ローテーション式にしているのが凄く効率良かった。助産師さん（倍賞ちえ子似）の方のお話が分かり易くかつ楽しかった。相談TELなどの窓口は土曜日あけてほしい。働くお母さんが参加できる教室も作ってほしい。
ねらいに対しての成果	・特に子どもと接する機会の少ない男性にとっては、子育てに積極的に関わるきっかけとなった。 ・出張ちょこっと相談やすてっぷライブラリー資料の展示などで、育児と仕事の両立に関する情報提供ができた。 ・すてっぷを知らない市民に、すてっぷのことを知ってもらえた。

事業名	転職カフェ 豊中市　市民協働部　くらし支援課　との共催
ねらい	1）サポート・情報を得られていない層へのアプローチ（孤独・孤立） 2）自分の応援団に出会う 3）ロールモデルに出会う 4）語り合える人と出会う（仕事、結婚、出産、育児、介護など） 5）仲間に出会う（つながり・支え合いのきっかけづくり）
対象者	再就職をしたい女性・地域創生事業受講者、エクセル講座受講者等
計画分類番号	2131　男女共同参画を推進する学習活動の充実 3132　女性の就労支援
実施日等	7月度＜木・19:00～21:00＞ ①7月6日、②7月20日、③8月3日、④8月17日、⑤8月31日 9月度＜土・14:00～16:00＞ ①9月30日、②10月14日、③10月28日、④11月11日、⑤11月25日 1月度＜木・19:00～21:00＞ ①2018年1月18日、②2月1日、③2月15日、④3月1日、⑤3月15日
内容	・アイスブレーキング（主催者・参加者自己紹介） ・ゲストスピーカーによるお話 ・参加者からゲストスピーカーへのインタビュー ・グループワークと参加者同士の交流（カフェタイム）
ファシリテーター	佐々木妙月　　情報の輪サービス(株)
ゲストスピーカー	7月度　②館林保江、③天野治美、④川田尚子 9月度　②北村聡子、③しのもりひろこ、④千福幸子 1月度　②うえのゆき、③大久保里香、④木元優子

定員	各　25　人	応募率	130.6　%	出席率	48.4　%
応募人数（3ターム計）	98　人（女性　98　人　男性　0　人）	参加人数（3ターム計）	68　人（女性　68　人　男性　0　人） ＜延べ　208 人＞		

〈ゲストスピーカーの話を聞く参加者〉



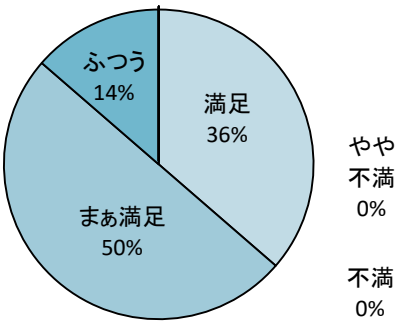
＜満足度＞

参加者の声	・同じ仲間がいる事を感じました。 ・最近ちょっと仕事をしようかなと考えていたので、色々教えていただけそうで良かったです。夢は大きすぎてまだ実感はありませんが、できることをして、人に伝え、書き、動いていくということをしていくのが大事というお話は参考になりました。 ・色々な人の体験談や、転職への気持ち、やりたい事など聞いて、自分の励みになりました。こないだ面接があったので（それは手ごたえはあまりなく）今日の一分スピーチや、自分の夢など、次回の機会に生かせたらと思います!講座を受けて自分がこれから何をしたいのか、ふり返るきっかけにもなりました。 ・転職に対する恐怖心がどんどん消えていくのがわかります。色めがねで今後のことを見ないようになれそうです。少しずつ進歩していってる気がします! ・起業を考えてる方が多く驚きました。具体的な転職につながるかはまだ良く分かりませんが、前向きな気持ちで過ごせる経験を得られて良かったです。
ねらいに対しての成果	・ゲストスピーカーの話から参加者が多様な生き方働き方を学べ、参加者同士の交流も促進できた。 ・木曜日の夜の実施は、土曜日午後の実施に比べ、より対象に近い層を多く集客できた。 ・転職、起業、再就職などに踏み切れない人が一歩踏み出すきっかけにつながった。 ・初めてすてっぷに来館した人も多く、すてっぷの認知度向上にもつながった。

事業名	女性のためのメンタルヘルス講座①「その不調、ストレスが原因かも？！」 豊中市　健康福祉部　保健所　保健予防課　との共催
ねらい	・女性特有の身体的、社会環境的要因に基づくストレスとうつ病等心の不調の関係や対処の仕方等を知り、予防ならびに回復を図る。 ・講座参加によって、女性のためのさまざまな相談事業や講座等の情報を得て利用につなげる。 ・2017年度より始まった豊中市メンタルヘルス計画の重点課題の1つである女性のメンタルヘルスの向上を、豊中市保健所保健予防課とワンモア豊中とすてっぷとの共催で取組む。
対象者	市内在住または在勤・在学の女性
計画分類番号	1111　人権意識の高揚をめざす啓発の推進 1211　性と生殖に関する互いの意思の尊重
実施日等	2017年7月21日(金)　14:00～16:00
内容	・女性のライフステージと精神的な不調の症状とストレスの関係 ・精神疾患と薬物治療の現状　など
講師	八尋美千代　　ほっとメンタルクリニック院長

定員	45　人	応募率	60.0　%	出席率	88.9　%
応募人数	30　人(女性　30　人　男性　0　人)	参加人数	24　人(女性　24　人　男性　0　人)		

＜講座の様子＞



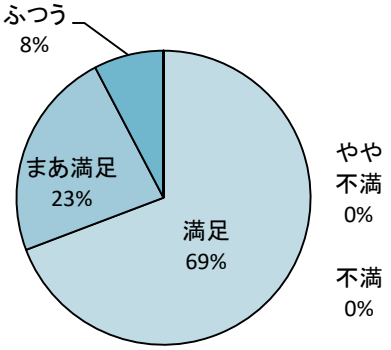
＜満足度＞

参加者の声	・これからの生活にいかしていけたら良いなと思いました。悩んでいる友人にも伝えられたらと思います。 ・本日は貴重なお話し、ありがとうございました。発達段階各々でのストレスについて様々で、また女性特有のストレスであると思いました。そのような状況になってしまった際の対処や周囲の対応を聞けると良かったと感じました。 ・自分の性質を知ることが大切だと分かりました。私にとって振り返ることが少ないと気づけたので今日の講座が聞けてよかったです。
ねらいに対しての成果	・参加者は、20代から60代まで幅広い年代を集客できた。 ・メンタルヘルス療養中で主治医の変更を考えている人が、地元の医師の話を聞ける機会にもなった。 ・共催で実施したことで、講師選定は保健所保健予防課の専門性が活かされ、またワンモア豊中の利用者である若い世代の参加にもつながった。

事業名	女性のためのメンタルヘルス講座②「妊娠・授乳と薬の基礎知識」 豊中市　健康福祉部　保健所　保健予防課　との共催
ねらい	・妊娠や授乳への薬の影響について正しい知識をもつことで、女性が持つ疾病の必要な医療を継続するとともに、疾病を持ちながらも希望する人が安心して妊娠・授乳育児が行えるようにする。 ・講座参加によって、女性のためのさまざまな相談事業や講座等の情報を得て利用につなげる。 ・2017年度より始まった豊中市メンタルヘルス計画の重点課題の1つである女性のメンタルヘルスの向上を、豊中市保健所保健予防課とワンモア豊中とすてっぷとの共催で取組む。
対象者	市内在住または在勤・在学のこれから妊娠・出産を考えている女性およびそのパートナー
計画分類番号	1111　人権意識の高揚をめざす啓発の推進 1211　性と生殖に関する互いの意思の尊重
実施日等	2017年7月28日(金)　14:00～15:30
内容	・精神疾患をはじめとする様々な疾病の必要な医療を本人が継続するとともに、疾病を持ちながらも希望する人が安心して妊娠・授乳育児を行うための薬の知識を学ぶ
講師	前田葉子　　大阪大谷大学薬学部教授

定員	45　人	応募率	31.1　%	出席率	100.0　%
応募人数	14　人(女性　14　人　男性　0　人)	参加人数	14　人(女性　14　人　男性　0　人)		

＜パワーポイントを見ながら話す講師の前田さん＞



＜満足度＞

参加者の声	・今現在授乳中なので受講させてもらいました。ネット等で情報が錯そうするなか、薬剤師さんからしっかりお話を伺えたのは貴重な機会でした。ありがとうございました。 ・自身が薬を服用しており、勝手に妊娠すると止めないといけないと思っていました。今回、先生のお話を聞くことができてよかったです。妊娠する、授乳するチャンスがあれば薬の処方医と妊娠と薬情報センターと併用したり、セカンドオピニオンを求めたいと思います。 ・とても分かりやすい講義をありがとうございました。妊娠・出産・授乳は女性にとってとても重要な出来事であり、その中でお薬がどのような影響を与えるかはとても興味深い内容だと思います。支援する側も正しい知識をもって説明する必要があるため、今回の講座で学んだ知識を生かしていきたいと思います。事例の精神疾患の方の薬がとても勉強になりました。
ねらいに対しての成果	・参加者は、疾病で服薬中であっても医師と相談することが重要であること。それにより、安心して妊娠や授乳ができることを学ぶことができた。 ・妊娠授乳中の当事者だけでなく、助産師などの支援者の参加により、正確な情報が当事者に伝えられることが期待できる。 ・共催で実施したことで、講師選定に保健所保健予防課の専門性が活かされた。

アウトリーチ（地域啓発）

1）出前講座

・2017年度は実施なし

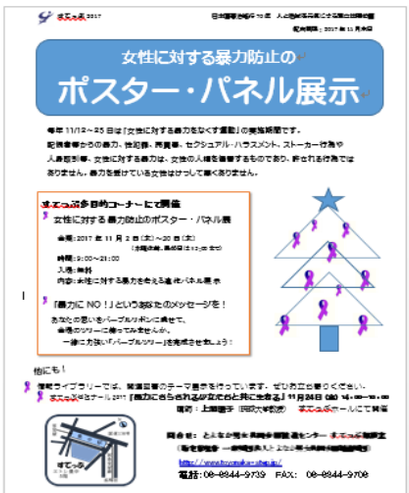
2）講師・委員会等派遣

実施日等	事業名	テーマ	派遣者名	主催(場所)	参加者
7月20日（木）	マンスリー講座	パワポでチラシ作成	藤池里美	市民活動情報サロン	20人
9月24日（日）	よるだん会	身近な男女共同参画を考える	西村寿子	日本キリスト教団豊中教会	20人
10月16日(月)、23日(月)	男女共同参画の学習	世間の枠と自分らしさ・互いを尊重するコミュニケーション	藤長恵子	梅花高校	149人
10月30日(月)		女性に対する暴力について	小河洋子		129人
10月18日(水)	緑地小学校教員保護者研修会	人権入門	西村寿子	緑地小学校	30人
10月20日(金)	箕輪小学校教員保護者人権教育講演会	子どもの可能性を拓くために～大人にできること	小河洋子	箕輪小学校	35人
11月7日(火)	むずかしいけどだいじなこと	18歳からの選挙権	小河洋子	梅花高校	215人
12月22日(金)	新田こども園	人権入門：セクシュアルマイノリティに焦点をあて	西村寿子	新田こども園	20人
2018年2月14日(水)	教職員研修	性別にとらわれず多様な生き方・考え方があることを知る	林誠子	豊島西小学校	20人
2018年3月29日(木)、30日(金)	人権研修	老人の人権について	西村寿子	（株）セラム(豊中病院)	100人

3）地域活動への参画

・2017年度は実施なし

事業名	「女性に対する暴力をなくす運動」期間のパネル展示				
ねらい	・パープルリボン活動が女性に対する暴力防止運動であること、そして、暴力は女性に対する人権侵害であり克服すべき課題であることを周知して、意識や行動の変化及び被害者の支援に結び付くよう働きかける ・DVは身体的暴力だけではなく、精神的・社会的・経済的他、さまざまな暴力のかたちがあることの気づきと理解を深めてもらう ・相談室の広報、情報ライブラリーの利用促進につなげる ・DV被害者が一人で苦しまずに、気軽に相談機関につながってもらうように働きかける				
対象者	貸室利用、ロビー利用を含めたすてっぷ利用者				
計画分類番号	1311　DVを許さない社会づくりを推進する 1312　安心して相談できる体制づくりを行う 1351　あらゆる暴力の根絶に向けて広報媒体や図書資料等を通じた啓発を進める 2312　男女共同参画にかかわる展示や情報相談等による情報の加工・提供・発信を進める				
実施日等	2017年11月2日（木）～11月30日（木）　期間中展示時間　9:00～21:00				
内容	・11/12～25日の「女性に対する暴力をなくす運動」期間に合わせ、パネル展示を実施する。DVの気づきを促し理解を深めてもらえるよう、すてっぷ作成の連作パネルを展示・啓発に努める。				
講師	なし				
定員	0　人	応募人数	人（女性　人　男性　人）	応募率	
パープルリボン記入人数	41　人（女性　27　人　男性　1　人）　無記入13人			出席率	
参加者地域	豊中市	27.0　%		満足度	

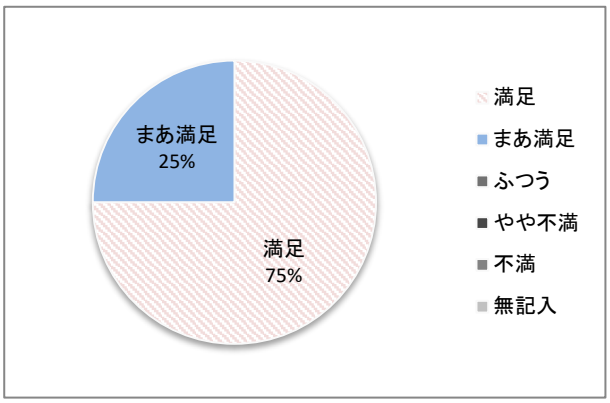


展示の様子①

情報ライブラリーでの展示の様子②

参加者の声	【パープルリボンに書かれたメッセージ】 ・誰にもコントロールされず、誰の顔色も窺わず、自分のために生きる人生を（50代女性） ・男自身が自分の暴力を見つめられるように。（40代男性） ・女性への暴力NO！DV防止教育を早くから進めて、若者を被害者にも加害者にもさせない（50代女性） ・ぼうりょくにまけるな。がんばれ！！（7歳女性） ・暴力は笑顔を奪う。世の中が笑顔であふれますように（40代女性）　など
ねらいに対しての成果	・すてっぷ来館者にDVに関する連作パネル展を見て、考えていただくと同時に「女性に対する暴力にNO！」という思いをメッセージにしてパープルリボンに記していただいた。会場におかれたホワイトツリーは昨年度（46名分）と今年度（41名分）のリボンでいっぱいになった。パネル展示終了後は情報ライブラリーにツリーを移し、来室者にパープルリボンの意味を考えてもらえた。 ・DVに悩む方々が適切な相談につながるように、10月開設の豊中市配偶者暴力相談支援センターをはじめとする相談先を情報提供した。

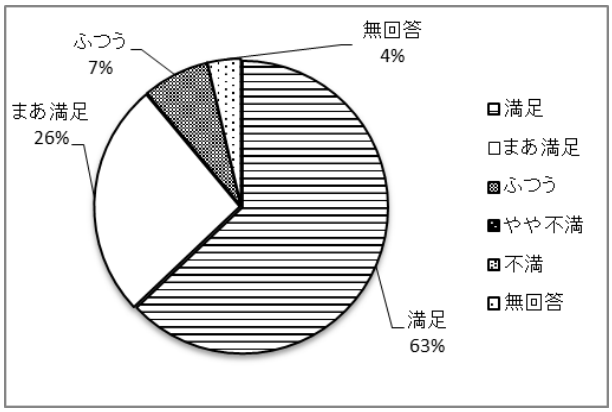
事業名	働く女性のちょこっと講座＆相談				
ねらい	①労働に関しての基礎知識を知り、働くことの意味を考え就業意欲を高め、就業継続につなげる。 ②出産後も安心して働ける対策を講じるきっかけをつくり就業継続につなげる。 ③不利な雇用条件で働き続ける非正規労働者が社会保障についてきちんと知り、将来につながる働き方を考えてもらう。				
対象者	働く女性、働き続けたい女性				
計画分類番号	3132　女性への就労支援 3322　就業・労働相談の充実 4311　ワーク・ライフ・バランスの啓発の推進 4322　仕事と家庭生活等の両立のための制度の周知と利用促進				
実施日等	①2017年7月22日（土）　②11月16日（木）　③2018年1月13日（土）13:30～16:00				
内容	①知って得する、働く女性の基礎知識 ②産む前に知って安心、産休・育休・マタニティハラスメントと保育園事情 ③非正規だからこそ知っておきたい、年金・健康保険・雇用保険				
講師	林誠子（財団理事長）　西野　智子（財団職員）				
定員	10　人　/1回	応募率	①50%②20%③70%	出席率	47%
応募人数	14　人（女性　14　人　男性　0　人）	参加人数	8　人（女性　8　人　男性　0　人）		



＜満足度＞

参加者の声	・知らないことはいっぱいなので、一つでも理解できてよかったです。 ・親切・丁寧に話を聴いていただき、すっきりしました。ちょうど保育園や復帰後の働き方について考えていたタイミングでしたので、助かりました。 ・日頃感じている不安や不満、言葉にできない事が具体的に分かったように思います。・非正規だからこその勉強になりました。 ・知っておいたら得な事が聞けたのでよかったです。勉強になりました。 ・知識を得ることができました。ありがとうございます。
ねらいに対しての成果	・「働く女性のハンドブック」の内容に則して各回のテーマで講座を実施し、労働に関しての基礎知識を高めた。 ・女性が主体的に生き、働き続けるという意味を確認してもらえる機会となった。 ・各回、講座終了後個別相談に対応できた。 ・参加者の満足度は非常に高かった。

事業名	3回連続グループ相談会 「夫は発達障害!?かもしれない」 夫に振り回されずに、自分らしく生きたい妻のグループ相談会				
ねらい	・「発達障がい」の傾向や特性をグループで受けとめながら、今の自分の状態を理解し、同じ立場の妻たちと悩みを分かち合い夫との関係を見つめ直す機会としたい。 ・同じ悩みを持つ妻たちが同じ場で今の状況や気持ちを話すことで、これまで他の人には理解されにくかった孤立感の軽減とともに、心を解放してもらう相談会としたい。 ・この相談会で特性を理解し、夫に対して「許容できること・できないこと」をはじめとする気持ちの整理と回復を今後すてっぷのカウンセリングで個別相談してもらうよう案内する。 ・何から相談すればよいかわからないという方に「すてっぷ相談室」を利用してもらうきっかけとする。				
対象者	当テーマに興味のある女性				
計画分類番号	3311　DV被害者への相談の充実 3331　人権侵害の相談・救済の充実 3361　エンパワーメントに関する学習機会、情報提供の充実				
実施日等	2018年2月6日、13日、20日（火）　13:30～15:30				
内容	発達障害かもしれない夫と妻の関係をテーマに、妻の孤独感・自尊心の低下や混乱・不安を少人数で分かち合う。自覚なく人を傷つけてしまう特性を持つ夫のサポート役を担わされている妻の気持ちに寄り添い、仲間とつながることのできる相談会とする。				
講師	本多晶子　（すてっぷ相談員、 臨床心理士）				
定員	8　人　/1回	応募率	①②③362.5%	出席率	100%
応募人数	29　人（女性　29　人　男性　0　人）	参加人数	9　人（女性　9　人　男性　0　人）		



＜満足度＞

参加者の声	・個人情報を大切にしているという安心感から具体的な話ができて助けとなる内容だった。 ・自分がとても必要としている場だと感じ、他の人たちも一生懸命暮らしているのが伝わってきた。 ・話しやすい雰囲気づくりに努めていただいてありがたかった ・どうしていけばよいのか求めていたものを聞けて良かった。続けてほしい。 ・臨床心理士さんがリードしてくれたので安心感があった。
ねらいに対しての成果	・初回より同じ悩みや苦しみを抱える妻どうしで、思いを話し受容しあうことができていた。 ・参加者からは、「色々な状況のカサンドラ妻たちが集い思いを吐き出せたこと、多くの気づきがあったことが良かった　」という声をいただいた。 ・参加者が抱える、周囲の人に話しても理解してもらえない孤独感や苦しみを、お互いに分かちあい癒しあえる場になった。

④関係機関とのネットワーク形成

A:豊中市人権政策課男女共同参画係
DV被害者支援連携ミーティング

2017年	6月6日（火）、7月11日（火）

Ｂ：豊中市関連機関との学習会

豊中市保健所	
実施日	2017年9月5日（火）14:00～16:00
内　容	互いの業務を理解し、相談者の福祉向上を図る
講　師	豊中市健康福祉部・保健予防課職員
対　象	すてっぷ相談員、相談事務局職員
参加人数	12人

豊中市市民協働部くらし支援課	
実施日	2018年3月26日（月）14:00～16:00
内　容	互いの業務理解を深め、生活困窮をはじめとする多様な背景を抱えた相談者の円滑な連携をめざす
講　師	豊中市市民協働部くらし支援課職員
対　象	すてっぷ相談員、相談事務局職員、講座担当職員、情報担当職員
参加人数	6人

⑤相談員ならびに相談事務局員の資質向上

C:相談員スーパーバイズ研修

スーパーバイズ研修（年2回実施予定）	
実施日	第1回　2017/7/29（土）14：00～16：00
	第2回　2018/1/26（金）18：00～20：00
内　容	面接相談事例を中心としたスーパーバイザーによる指導
講　師	宮本由起代（ＮＰＯ法人心のサポートステーション）
対　象	すてっぷ相談員、相談事務局職員
参加人数	第1回　10人、第2回　9人

2017年度　施設の維持・安全管理

＜主な対応実績＞

月	日	内容等	件数
4月	3	貸室システムダウンへの応急対応	17
	3	ロビー不適切利用者への対応	
	4	裁断機不具合への対応	
	10	ゴミ袋回収券の準備	
	11	大型備品等の廃棄物処理	
	11	リースパソコン故障HDD交換対応	
	13	人権政策課施設見学対応	
	16	貸室利用者の音量苦情の調整	
	16	貸室利用者に対する気温対策の実施	
	17	ロビー系統空調加湿器取替工事	
	19	消防設備法定点検	
	19	ガラス窓清掃（1／4）	
	19	セミナー室空調リモコン再設定工事	
	20	ホール音響映像設備保守点検	
	23	ロビー混雑苦情の整理	
	26	冷暖房切り替え工事	
	29	ホールマイク不調対応	
5月	2	電話機故障対応	23
	2	飲料自販機故障応急対応	
	4	利用者同士のトラブル対応	
	5	避難器具の点検立ち会い	
	6	Webサーバ移管手続き対応	
	7	貸室内の害虫処理	
	7	利用者館内閉じ込め事故	
	8	利用者館内閉じ込め事故に係る事情の聴取	
	8	ホール調光設備の保守点検	
	8	飲料自販機修繕立ち会い	
	8	故障リースパソコンのリカバリ作業	
	8	Webサーバ移管手続き対応	
	9	利用者館内閉じ込め事故に係る委託業者との協議	
	12	女子トイレ洗面詰まり対応	
	16	氷蓄熱機の点検済安全弁の戻し入れ作業	
	18	貸室端末不具合液晶の交換	
	21	防災警報誤作動への対応	
	22	利用者同士のトラブル対応	
	23	AEDパッド交換	
	23	事務用ラミネーター故障対応	
	26	電話設備追加工事	
	28	印刷機不具合対応	
	30	印刷機不具合修理	
6月	2	避難器具点検の立ち会い	19
	3	女子トイレ洗面ボウル水洗修理	
	4	不適切利用者への苦情対応	
	6	ワイヤーロープ修繕打合せ	
	10	事務所周り害虫駆除の実施	
	12	サーバ移管準備	
	13	サーバ移管準備	
	16	ネームサーバ移管作業	
	17	ホールプロジェクター不具合調整	
	17	ライブラリー天井ボード補修	
	23	男性相談電話増設事前準備	
	23	水飲み機調整	
	26	害虫駆除見積もり立ち会い	

月	日	内容等	件数
	26	館内防犯カメラ位置調査	
	27	ITV架見積もり立ち会い	
	27	コピー機ドラムカートリッジ交換	
	27	相談室緊急呼び出し発信機の補修	
	30	貸室利用者への伝達事項広報準備作業	
	30	ホール映像音響設備修繕	
7月	1	ロビー不適切利用者への対応	25
	3	エトレエスカレータ清掃対応	
	4	エトレテナント用備品の利用者による置き去り対応	
	4	特別倉庫の不適切利用状況への対応	
	6	ホール前カーペット汚れ対応	
	7	トラッキング火災予防に関する対応	
	9	瞬間停電対応	
	9	大雨警報の措置	
	10	貸室用パソコンバッテリー切れ対応	
	10	共用部分案内照明板球切れ対応	
	10	コピー機不具合点検	
	10	電話工事業者見積り対応	
	13	氷蓄熱機不具合点検	
	13	コピー機部品交換	
	13	電話工事業者との事前打ち合わせ	
	17	貸室利用車トラブル対応	
	17	紙折り機不具合対応	
	18	印刷機不具合対応	
	19	相談専用電話工事	
	19	ガラス窓清掃（2／4）	
	21	氷蓄熱ユニット不具合深夜点検	
	21	紙折り機修繕	
	27	新規事業用パソコン受入れ作業	
	29	貸室予約システムのメンテナンス対応	
	29	通路不適切利用者への対応	
8月	1	貸室吊物の定期点検	17
	2	氷蓄熱機工事立ち会い	
	3	新規事業準備レイアウト変更	
	4	光回線の新設工事	
	4	避難器具の点検	
	5	ホール空調不具合対応	
	7	台風接近に関する対応	
	8	空調不具合緊急利用者対応	
	8	トイレ洗面詰まり対応	
	10	氷蓄熱機の不具合点検	
	13	広報掲示板補修	
	13	女子トイレ洗面ボウル詰まり応急処置	
	20	給湯室不適切利用者への対応	
	20	6階施設空調管理補助	
	26	ホワイトボード割れ金具修繕	
	26	ホール漏電信号発生への対応	
	28	ホール火適切利用者への対応	
9月	1	ロビー印刷機不具合修繕	24
	3	利用者忘れ物探索	
	3	ロビーテーブル不適切利用者への対応	
	4	ロビー印刷機修繕	
	7	女子トイレ洗面腐食配管の修繕	
	7	施設の省エネ診断事前打ち合わせ	
	8	ロビー不適切利用者への対応	
	14	相談室空調不具合点検	

月	日	内容等	件数
	14	視聴覚室空調不具合点検	
	14	非常灯ランプ交換	
	15	空調フィルター定期点検	
	15	視聴覚室空調不具合点検	
	15	女性トイレ洗面アダプター故障対応	
	16	台風事前対策	
	17	台風対応	
	17	通路不適切利用者への対応	
	17	セミナー室ピクチャーレールフック修繕	
	17	ライブラリー天井ボード点検	
	19	エトレ消防設備不備箇所改修への対応	
	21	施設の省エネ診断	
	21	総合カウンター緊急ブザー設置	
	23	利用者の忘れ物探索	
	29	ライブラリー利用者端末不具合対応	
	30	エトレ消防設備点検工事対応	
上半期計			125
10月	1	トイレ放置物対応	24
	8	ロビー不適切利用者への対応	
	8	インターネット障害対応	
	9	インターネット障害対応	
	12	ライブラリー奥非常口ベランダ清掃対応	
	12	空調室外機修繕工事	
	15	ロビー不適切利用者への対応	
	16	ライブラリー閲覧席椅子補修	
	17	サーバ不具合対応	
	18	サーバ不具合対応	
	18	ガラス窓清掃（3／4）	
	18	消防設備点検立ち会い	
	21	台風事前準備	
	22	台風前倒し閉館等の調整対応	
	26	サーバ不具合調査対応	
	26	消防訓練打合せ	
	27	消防訓練打合せ	
	28	消防訓練打合せ	
	28	印刷機不具合による保守点検修理	
	28	台風事前準備	
	29	ロビー不適切利用への対応	
	29	セミナー室マイクシステム不具合点検	
	31	AED点検	
	31	ホール調光卓見積もり打合せ	
11月	4	ホール騒音への対応	24
	6	セミナー室・視聴覚室マイクシステム点検	
	9	代表監査委員の施設見学受入れ	
	9	リコール回収AEDパッド交換	
	15	建築設備点検	
	15	シャッター点検及び電池交換	
	16	省エネ診断業者への屋上視察対応	
	16	エトレビル火災探知機修理への対応	
	17	市有施設建物不具合箇所確認作業	
	18	防災パネル誤作動への対応	
	19	ホール備品緊急追加対応	
	19	自習室荷物置き去り利用者への対応	
	19	屋内消火栓の点検対応	
	21	貸室空調対応	
	25	防災パネル誤作動への対応	

月	日	内容等	件数
	26	貸室空調対応	
	26	ロビー不適切利用者への対応	
	27	消防訓練準備	
	28	消防訓練	
	28	エトレビル廃棄物調査への対応	
	29	スプリンクラー点検立ち会い	
	29	自販機ゴミ処理対応	
	30	ロビー不適切利用者への対応	
	30	エトレビル消防訓練	
12月	2	貸室利用者への承認内容の再聴き取り対応	35
	3	多目的コーナー不適切利用者への対応	
	3	ロビー不適切利用者への対応	
	5	備品棚卸	
	6	暖房切替工事	
	7	5階6階貸室相互利用促進打合せ	
	8	避難器具点検	
	8	防排煙誤作動対応	
	12	氷蓄熱機視察対応	
	12	省エネ診断の空調メーカー継続対応	
	12	床清掃前準備	
	13	暖房切り替えに伴う点検	
	13	床清掃	
	14	ホール電動椅子定期点検	
	15	ホール利用予定者への対応	
	15	ホールと音楽健康づくりルーム連携設備の動作確認	
	17	ロビー不適切利用者への対応	
	18	セミナー室2ドア蝶番の補修	
	18	リースパソコン不具合対応	
	19	国際交流センターからの施設相互利用に関する申し入れ対応	
	22	高圧ガス消防署立ち入り検査	
	22	蛍光灯不具合点検	
	22	リースパソコン故障修理	
	22	貸室利用者からの意見への対応	
	22	ロビーでのトラブル対応	
	24	備品棚卸前準備	
	25	修繕見積もり業者対応	
	25	自販機業者への連絡対応	
	25	備品棚卸	
	26	重機搬入経路確認対応	
	26	備品棚卸	
	28	総合管理契約更新の打合せ	
	28	視聴覚室天井からの漏水緊急対応	
	28	備品棚卸	
	29	中央監視盤照明空調年末年始設定不具合への対応	
1月	4	視聴覚室漏水による臭い応急対応	25
	6	ホールワイヤーロープ更新工事	
	7	ホールワイヤーロープ更新工事	
	8	ホールワイヤーロープ更新工事	
	9	ホールワイヤーロープ更新工事	
	9	視聴覚室床の特別清掃	
	10	ホールワイヤーロープ更新工事	
	10	視聴覚室天井内配管修繕工事	
	11	氷蓄熱機不具合対応	
	12	氷蓄熱機不具合対応	
	12	暖房器具の緊急手配	
	13	氷蓄熱機不具合対応	

月	日	内容等	件数
	14	氷蓄熱機不具合対応	
	15	氷蓄熱機不具合対応	
	17	ガラス窓清掃(4／4)	
	18	非常灯不具合対応	
	18	グループロッカーのトラブル対応	
	22	非常灯不具合対応	
	22	視聴覚室天井パネル補修工事	
	22	セミナー室2A空調不具合対応	
	25	倉庫取り扱いトラブル対応	
	27	ホールプロジェクター不具合対応	
	28	ロビー利用者トラブル対応	
	30	受変電点検前準備	
	31	受変電点検後の復旧	
2月	1	貸室システム不具合対応	22
	2	火災誤警報への対応	
	3	ピアノ定期点検	
	4	紙折り機故障の対応	
	5	ホールプロジェクター不具合対応	
	5	ロビー緊急清掃対応	
	6	貸室内吊物の定期点検	
	6	ホール破損パソコンケーブル取替対応	
	11	ロビー不適切利用者への対応	
	15	貸室システム用端末の豊中市による入替え	
	15	ロビー利用状況ご意見への対応	
	18	紙折り機不具合対応	
	19	紙折り機不具合対応	
	20	貸室システム用端末の豊中市による不具合対応	
	21	スプリンクラー点検口の増設工事	
	21	機械警備の動作確認点検	
	23	貸室システム用端末の豊中市による調整作業	
	24	利用者による排煙設備誤作動への対応	
	24	身体障害者おむつ交換への対応	
	25	ホール音漏れ案件への対応	
	26	故障パソコンリカバリー作業	
	27	故障非常灯の取替え工事	
3月	1	視聴覚室天井からの異音対応	16
	2	氷蓄熱機故障時対応物品の整備	
	2	裁断機のメンテナンス	
	3	貸室ドアストッパー取替え	
	5	視聴覚室他の異音点検	
	6	総合カウンター天井照明取替え工事	
	12	空調フィルター定期清掃	
	12	産業廃棄物処理への対応	
	15	ホール備品整理	
	15	消防設備検査	
	16	貸室ドアストッパー取替え	
	17	展示パネルのポール部品補修	
	18	ロビー利用者同士のトラブル対応	
	19	産業廃棄物見積もり対応	
	27	相談室水道蛇口調整	
	31	グループロッカー契約の更新案内作業	
下半期計			146
通期合計			271

事業名	冊子「働く女性のハンドブック」作成
ねらい	厳しい雇用状況のなかで、労働条件や労働環境・出産・育児との両立などに悩み、働けない・辞めなければいけないのではと相談に来られる女性は多い。法や制度を知り働き続ける女性がいる一方で、知る機会がないために退職してしまう場合がある。適用される法や制度・社会保険のしくみなどを知っていることは、女性が安心して働く・働き続けるうえで重要だと思われる。これまで「ちょこっと相談」「両親教室」、受託事業で配布していた資料を冊子「働く女性のハンドブック」としてひとつの形に作成し、そばに置いて困った時に活用してもらう。
対象者	働く女性、働きたい女性
計画分類番号	3132　女性への就労支援 3322　就業・労働相談の充実 4311　ワーク・ライフ・バランスの啓発の推進 4322　仕事と家庭生活等の両立のための制度の周知と利用促進
実施日等	2017年5月作成、6月より配布
内容	2016年度作成の初版に、制度の変更や介護休業制度等を組み込み、改訂版を作成した。 1.労働条件通知書または労働契約書 （労働契約、労働条件の明示） 2.労働基準法 （労働時間、休憩、休日、割増賃金、年次有給休暇、退職、解雇） 3.就業規則 4.給与明細 5.各種保険 （労災保険、雇用保険、社会保険<健康保険、厚生年金保険>） 6.年金制度のしくみ 7.妊娠から産前産後休業 （妊娠がわかったら、就業が困難なときは、マタニティハラスメント、これまでの仕事が負担だと感じたら、産前産後休業、各種手当金　等） 8.育児休業から仕事復帰 （育児休業制度の概要、給付金、保育所の手続き、仕事と育児を両立するための制度） 9.介護休業 10.セクハラ・パワハラ 11.職場へ伝えるときに 12.働いて生きる意味

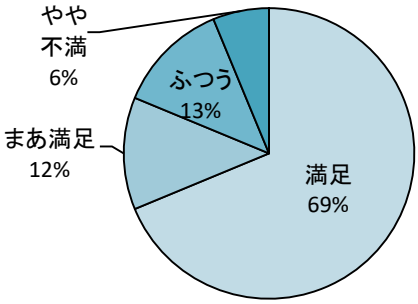
ハンドブック配布先

豊中市人権政策課男女共同参画係	30　部	ハローワーク池田	30　部
豊中市市民協働部くらし支援課	30　部	ハローワークプラザ千里・マザーズコーナー	30　部
豊中市こども未来部子育て給付課	30　部	ちょこっと講座受講生　10×3	30　部
豊中市中部保健センター	150　部	受託事業受講生	100　部
豊中市千里保健センター	150　部	両親教室相談者	100　部
豊中市庄内保健センター	150　部	すてっぷ	170　部
小計	540　部	小計	460　部

1000部

ねらいに対しての成果	・母子手帳を受け取りに来た女性を対象に、ハンドブックを通して保育所入所の進め方や産休・育休の取り方など、仕事を辞めなくてもいい制度があることを知ってもらえるように市内3か所の保健センターで配布、活用してもらえた。 ・求職にきた女性に手に取ってもらえるよう、ハローワーク池田、ハローワークプラザ千里・マザーズコーナーに配布を依頼、活用を促した。 ・両親教室・ちょこっと講座・受託事業の参加者、「ちょこっと相談」「労働相談」「就労相談」「情報相談」の相談者に、ハンドブックを見てもらいながら情報提供ができるのでより理解してもらいやすく活用できた。
今後に向けて	制度の変更等、今後も随時改訂予定

事業名	人間関係や仕事がしんどい女子のための気軽におしゃべり　カフェタイム				
ねらい	＜主旨＞ 生きづらさ・働きづらさを感じている若年女性のエンパワメント ＜ねらい＞ 指定管理事業の若年女性対象講座から継続して交流できる場を提供する。 同じ悩みを持つ仲間との交流を通じて、若年女性の孤立感の解消につなげる。 下期の市民企画委員への参加につなげる。				
対象者	生きづらさ・働きづらさを感じている39歳くらいまでの子どものいない独身女性				
計画分類番号	3141　若者や中高年の就労等の支援 3361　エンパワーメントに関する学習機会、情報提供の充実				
実施日等	8月27日、9月24日（日）14:00～16:00				
内容	生きづらさ・働きづらさを感じている若年女性のエンパワメント				
講師	なし　（財団職員が進行）				
定員	－　人	応募率	－　％	出席率	－　％
応募人数	－　人（女性　人　男性　人）	参加人数	17　人（女性　17　人　男性　0　人）		

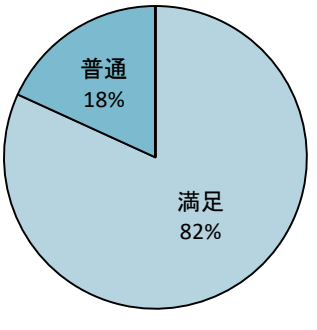


＜満足度＞

参加者の声	・家族以外の人としゃべる機会がない者にとって楽しいひとときでした。 ・この交流会に参加するとみなさん互いに否定しないので心が楽になります。 ・いろいろな話をきくことができて楽しかったです。子どもと一緒の親子対象イベントはたくさんありますが、大人女子が一人で参加できる催しが少ないのでこのような企画をまたお願いします。
ねらいに対しての成果	・若年女性対象セミナーから継続参加があった。 ・8月は参加者の悩みごとに対してアイデアを出し合うなど、深い交流ができた。9月は初参加の人が多く、気軽なテーマで交流したが、同年代で子どものいない独身女性という共通点があったため話しやすかったようだ。 ・参加者から下期の市民企画委員への申込みがあった。

事業名	パパと子どものわくわくクッキング				
ねらい	・子どもたちにパパと一緒に食事をつくる楽しさと大切さを知ってもらい、「料理はママだけの役目ではなく、家族で助けあってするもの」を理解してもらい、「子どもも料理ができる」という達成感と自信につなげる。 ・パパは料理をとおして「男女共同参画」「性別役割分担」考えるきっかけとしてもらう。料理をツールとし、親子で共同作業する過程で親子、パパ同士、子ども同士の交流をはかる。 ・料理をするだけではなく「防災クッキング」をテーマとし、災害時にも家族全員で助け合うことの必要性や、大災害に対応する「食」の必要性を学ぶ。パックされた素材を保存食へ活用。				
対象者	パパとこども				
計画分類番号	2221　男性に対する男女共同参画の推進 2131　男女共同参画を推進する学習活動の充実 2112　幼少期からの男女共同参画の推進 3173　男女共同参画の視点を取り入れた防災・災害対策の対応 他				
実施日等	10月29日（日）10:30～13:00				
内容	パパと子どもで力を合わせて料理をつくる ●料理メニュー…キーマカレー、ナン、コーンスープ、カスタードバナナ ●食事中…交流会、防災について学ぶ ●アンケート…子どもからパパへ一言メッセージ				
講師	講師：笠井美代子（日本製粉クッキングパートナー） 井関雅子（豊中女性防火クラブ連絡協議会、女性と防災を考える会）				
定員	12　組	応募率	903　%	出席率	95.0　%
応募人数	12　組（女性　6　人　男性　18　人）	参加人数	11　組（女性　6　人　男性　16　人）		

＜調理風景（ナーンの生地づくり）＞



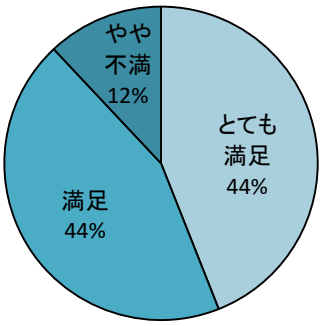
＜満足度＞

※1組、子どもが体調不良で早引き

参加者の声	・普段、料理を子供と一緒にすることがないので、いい機会でした。 ・仕込みが出来ていたので、スムーズだった。 ・もう少し、料理を作る時間が欲しかった。 ・無料で参加出来たところが良かった。今後も同様のイベントがあれば参加したい。 ・みんなで協力して作業出来たところが良かった。量が多くて残してしまいました。スミマセン。
ねらいに対しての成果	・100組以上の申し込みがあり、パパの料理教室へのニーズの高さがうかがえた。パパの家事、子育て参加への呼びかけとともに、日頃、家事、子育てに忙しいママがくつろげる時間をつくることができた。 ・パパも子どももみんなが助け合って調理した。共同作業をとおして、自然に会話もうまれコミュニケーションを図ることができた。 ・保存がきくテトラパックの食料品から、防災の話につなげることができた。井関さんに阪神大震災のことも含め、日ごろからの準備の大切さを話していもらい、家族で力を合わせてそなえることを考えてもらうことができた。

事業名	シングルマザー応援フェスタ				
ねらい	●事業全体のテーマ：地域ぐるみでシングルマザー支援！～おたがいさまで、つながりづくり～ 「情けは人のためならず」－この事業を通して、支援する側、される側がつながり、たがいに力をつけ、力を合わせてシングルマザーが（誰もが）安心して生きることができる地域づくりをめざす。 財団主催の女性起業家支援講座、再就職支援講座の受講者（2016年度地方創生推進交付金事業）。すてっぷ登録団体。地域の市民団体・関連団体等、地域の力を合わせてシングルマザーを支援する。				
対象者	シングルマザー（離婚を考えているママも含める）とその子ども				
計画分類番号	3152　さまざまな困難を抱える人々の自立支援 3231　男女共同参画を推進する団体・グループ等への支援 3133　女性の就労支援				
実施日等	12月10日（日）　13:00～16:30				
内容	●ミニセミナー「シングルマザーのゆったりライフ」●個別相談会●シンママさんゆったりコーナー（ネイルケア、ハンドマッサージ、ヨガ）●リサイクル婦人服プレゼント●マチカネくんと体操、クイズ、ゲーム●本よみ＆リースづくり●情報コーナー●カフェ				
講師	中野冬美　（女性のための街かど相談室ここ・からサロン共同代表）				
定員	40　人	応募率	102.5　%	出席率	87.5　%
応募人数	41　人（ママ　23　人　子ども　18　人）	参加人数	35　人（ママ　19　人　子ども　16　人）		

＜ゆったりコーナー（ハンドマッサージ）＞



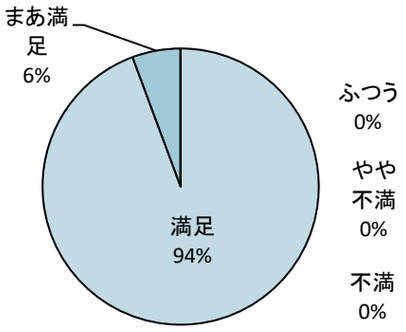
＜満足度＞

参加者の声	・いつも子供と一緒なので、一時的にも1人で行動できる時間があってよかった。相談でゆっくりお話しが出来て助かった。 ・お金がかかると思うと何も出来ないが、今日はとてもいい内容のものに参加させて頂けて良かった。 ・こういう機会があって気持ちに余裕が出来た。 ・時間的にせわしなく、他の方と話が出来なかった。
ねらいに対しての成果	・普段、仕事、子育て、家事に忙しいシングルマザーにゆったりと過ごしてもらうことができた。 ・このイベントではじめてすてっぷに来館した数名のシングルマザーに、すてっぷの存在を知ってもらうことができた。 ・中野講師より「シングルマザーがしんどいのは個人の責任だけではないから、そう気に病むことはない。子どもは案外強い。自信をもって子どもと楽しく生きてください」と勇気づけられるメッセージがあった。 ・イベント終了後、職員、講師、ボランティアの全員で振り返りの場を設けた。「シングルマザー支援に自分も役に立てたよね。こんなイベントを続けたいね」という声があり、地域で支援し合い助け合う場づくりの第一歩となった。

事業名	就労準備支援事業「パソコンコース」業務　エクセル検定対策講座
ねらい	・生活困窮者、就労困難層である参加者に対し、エクセルの基本的な技術習得と資格取得を通して就労意欲の喚起やコミュニケーション力向上を図り、生活上の自立・社会的な自立を含めた就労支援を行う。
対象者	豊中市地域就労支援センターに就労相談をしている生活保護に至るで自立が見込まれる人（就労困難層の女性・男性）
計画分類番号	2131　男女共同参画を推進する学習活動の充実 3131　女性への就労支援 3132　女性への就労支援
実施日等	タームⅠ　2017年7月～10月の原則月曜と金曜の19:00～21:00　全24回 タームⅡ　2017年11月～2018年2月の原則月曜と金曜の19:00～21:00　全24回 （いずれも含む、交流会、特別講座、自習1回）
内容	生活的・社会的な自立支援と、エクセルのスキルアップと検定合格をめざす。 就労意欲喚起、コミュニケーション力向上、就活スキルアップをねらいつつ、就労に向けた個別対応も行う。 基礎、検定を1タームとして、2ターム運営する。 エクセル以外に、交流会・特別講座（働く基礎知識＋転職経験者の話）・すてっぷ主催事業（2回）もプログラムに組み込む。

講師	堀山可奈子　（株式会社Hiyoshiマネジメント・オフィス）				
定員	各　20　人	応募率	125.0　%	出席率	81.6　%
応募人数	50　人（女性　43　人　男性　7　人）	参加人数	38　人（女性　31　人　男性　7　人）		

＜エクセル検定対策講座の様子＞



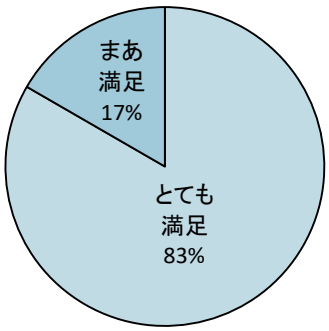
＜満足度＞

参加者の声	・足し算の仕方すら知らないスタートでも、何とか1級を受けれるレベルまで達することができ、うれしく思う。 ・最初のうちはかなり不安だったが今では1級を受ける自信がついた。この自信が就職の手助けになった。 ・先生には分かりやすく何度も丁寧に教えてもらい、分からない所も質問しやすい体勢だったので本当に感謝。 ・就労支援付きでエクセルだけでなく、仕事の相談にものってもらえたので、心強かった。 ・3分間スピーチや仕事につかれている方の話が聞けた講座は、個人的に参考になった。 ・とてもわかりやすく、教室の雰囲気もよかったので、毎回楽しく参加できた。
ねらいに対しての成果	・エクセル検定試験の受験者は37人、全員が合格した。 ・タームⅠは4人就職（無職から3人、転職1人）、タームⅡは4人就職（無職から2人、転職2人）。 ・交流会や特別講座（働く基礎知識、接客業の紹介、仕事経験の話）をプログラムに組み込んだことで、エクセルのスキル習得だけでなく、これからの働き方について考える機会や他の講座生との交流も促した。 ・講座中に男女共同参画の話題を出す（3分間スピーチの感想等）ことで、男女共同参画にふれる機会をつくった。

事業名	就労準備支援事業「パソコン職場実習」				
ねらい	・パソコンの基本的な技術習得を通して就労意欲を喚起する。 ・情報ライブラリーや事業での実習を通して働く感覚を体験する。 ・実習を通じて参加者同士のコミュニケーションを促す。 ・参加者が今後の就労に向けて方向性を出せるよう適性を見る。				
対象者	豊中市地域就労支援センターに就労相談をしている一般市民（就労困難層の女性・男性）				
計画分類番号	3132　女性への就労支援 3141　若者や中高年男性への就労等の支援 3142　若者や中高年男性への就労等の支援				
実施日等	2017年7月～12月のおおむね火曜日9:30～11:30、金曜日14:00～16:00　（8回×3タ－ム）				
内容	パソコンを使った事務作業 事務所での軽作業 ライブラリーでの軽作業				
講師	財団職員				
定員	各6　人	応募率	%　出席率	92.3　%	
応募人数	人（女性　人　男性　人）	参加人数	5　人（女性　4　人　男性　1　人）		
参加者の声	（日誌、振り返りシートより） ・だんだん仕事が楽しくなってきました。少しでも役に立てたらと思います。 ・確実に通うことを目標に家で調子を整えて、最後まで参加することができました。 ・パソコンでいろんな作業ができるということをあらためて知りました。				
ねらいに対しての成果	・入力作業をしながらパソコンの使い方を覚えてもらった。また、情報ライブラリーで軽作業も体験することで、仕事をする上での向き不向きを感じてもらえた。 ・少人数だったため職員とコミュニケーションをとりつつ実習に参加してもらった。 ・実習中の様子を就労支援センターの担当者へ伝えることで、参加者の就労へ向けた次のステップを考える参考にしてもらえた。				

事業名	【お仕事リターンズ・プロジェクト】 短期集中就活＆エクエル検定対策				
ねらい	・結婚・出産を機に就労から離れたが、再就職を希望する女性を対象に、「地域人づくり事業」で蓄積してきた再就職支援プログラムを通して、就労経験の浅い女性やブランクのある女性も含め、再就職につながる事業を実施する。 ・前回、池田公共職業安定所や豊中市無料職業紹介所との連携、すてっぷ内の相談事業や情報事業など含めて出口へとつないだが、今回も他機関との連携やすてっぷの強みを生かして再就職支援を行う。 ・「女性活躍推進法」施行を受け女性が働きやすい環境づくりをめざし、女性のニーズをさぐり、地域の事業所に対しても女性雇用に対する関心を高める。課題をあげ来年度の事業へとつなげる。				
対象者	求職中の女性				
計画分類番号	3131　女性の就労支援 3132　女性の就労支援 4414　女性の就労支援 4422　働き続けやすい雇用環境の促進のための啓発、情報提供 他				
実施日等	6月29日（木）～7月18日（火）の月火木金				
内容	●就活実践講座：25時間 ・キャリア棚おろし、仕事の選び方　・ハローワーク活用法　・実践！この企業にアプローチする　・労働、社会保障基礎講座　・職務経歴書作成　・面接のポイント、第一印象アップ・ビジネス敬語　・ライフプラン発表　等 ●エクセル検定対策　30時間				
講師	講師：堀山可奈子（Hiyoshi・マネジメント・オフィス代表）、浦口國義（ハローワークプラザ千里）、西野智子、西村寿子（一般財団法人とよなか男女共同参画推進財団）				
定員	18　人	応募率	272.2　%	出席率	97.2　%
応募人数	49　人（女性　49　人　男性　0　人）	参加人数	18　人（女性　18　人　男性　0　人）		

＜エクセル検定講座＞



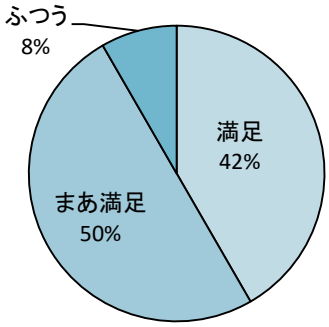
＜満足度＞

参加者の声	・最初はExcelの検定だけかと思い戸惑いましたがいろんな方の経験や考えが知れてとても刺激を受けました。漠然と考えていたことも具体的に見えてきてやる気が起きました。 ・話を聞く座学も好きでしたが、今回自分で考えて考えをまとめて言葉にすることを実践出来たことが私にとって貴重な体験でした。特に労働・社会保障のお話が自分の漠然と持っていた老後の不安が晴れたように思いました。 ・人とつながる事が出来て嬉しかったです。安心できる場所が出来て嬉しかったです。 ・エクセル検定は、先生やアシスタントの方々の熱意がすごかった。自分も頑張る気になれた。
ねらいに対しての成果	・就職決定者（2018月3月末）…15人 ・エクセル検定合格者…18人全員合格（1級4人、準1級10人、2級10人、準2級5人） ・就活に対して意欲的な人が多い。講座終了時が8月で「夏休みで子どもが家にいる」など行動には移してない人も、「9月から就職活動をはじめる」とやる気になっている。9月末に交流会を実施するので、意欲を後押しする。 ・受講前と比べると「踏み出す勇気がもてた」「前向きになった」「刺激を受けた」等と気持ちの変化があった。

事業名	企業が成長するための「女性活躍」を考える～女性が働きたくなる、働き続けることができる職場環境づくり～
ねらい	・一億総活躍社会実現のための豊中市チャレンジ就労支援事業「結婚・出産等で離職した女性の就労促進事業」において女性の雇用促進と働きやすい職場環境づくりをめざし、主として豊中市の中小企業対象の事業を実施する。 ・経営の専門家から女性活躍の意義と具体的な職場環境づくりへの提案してもらい、女性が活躍している企業から女性が働きやすい職場環境づくりを報告してもらう。女性の活用、雇用を迷う企業に参考にしてもらい、女性の雇用を促進する。 ・女性雇用を推進するために、企業へ助成金の活用を促す。豊中商工会議所との連携を図る。
対象者	豊中市の中小企業経営者、管理職
計画分類番号	4311　事業所へ向けた働き方の見直しの促進 4122　男女共同参画を阻害する慣行の見直し
実施日等	2018年3月2日（金）　14:00～16:00
内容	＜講師の話＞中小企業診断士による講義 「企業の成長に欠かせない女性活躍、その実例」 ＜事例報告＞企業からの報告　2社 「女性の活用」「女性が働きやすく働き続ける工夫」 ＜助成金の提案＞助成金紹介　女性活躍加速化コース、育児休業等支援コース ＜個別相談＞中小企業診断士による経営相談
講師	中小企業診断士、大阪府よろず支援拠点チーフコーディネーター　北口祐規子 報告　株式会社スカイアスキー代表取締役　今井雅晴 社会福祉法人ウエル清光会 清豊苑・利倉清豊苑施設長　細川和孝

定員	20　人	応募率	95.0　%	出席率	90.0　%
応募人数	19　人（女性　10　人　男性　9　人）	参加人数	18　人（女性　9　人　男性　9　人）		

＜受講風景＞

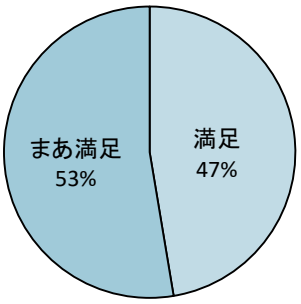


＜満足度＞

参加者の声	・女性が働き続ける上での現状の問題について理解が深まった。可能性も感じることもできた。 ・各女性が望む生活スタイルを聞くことからはじめる必要があることが分かった。 ・企業が成長するためには、女性に限らず従業員を大切にする必要があると思う。 ・従業員に合わせたワークバランスと改善が必要かと思い、今回他社の実例が聞けて参考になった。
ねらいに対しての成果	・中小企業の経営者、責任者からの報告に対して、中小企業という同じ立場の参加者に共感してもらえた。女性の多様な働き方、組織としての工夫等を報告してもらうことによって、参加企業の参考にしてもらえた。 ・以前の参加者、豊中市内介護事業者等に100通以上のメール、DM発送をしたことで、企業からの参加人数が予測を上回った。はじめて参加した企業もあった。 ・すてっぷは「就職したい女性」の情報、支援実績は多いが、「女性を受け入れる企業」の情報は少ない。企業対象の講座は企画、集客とも難しいが、今後も工夫して継続する。

事業名	起業スターターズ・プロジェクト　女性の起業連続セミナー				
ねらい	・「地域人づくり事業」の後継事業として、「地方創生事業」を実施。それを通じて、地域の起業したい女性を掘り起こし、女性の社会参加を促進する。 ・女性が起業することの意義、やりがいを知り、起業のためのスキルを磨き、起業家としての自立をめざす。 ・プレ講座から連続10回講座へつなげ、起業のスキルを高め、成果（フェイスブック、出店等）へつなげる。 ・女性起業家の交流の場、つながりをつくる。				
対象者	起業したい女性				
計画分類番号	3131　女性への就労支援 3132　女性への就労支援 3133　女性への就労支援 3322　就業・労働相談の充実				
実施日等	2017年9月28日（木）～12月7日（木）　13:30～16:30				
内容	起業をめざす女性を対象に、事業委計画、販売戦略、Web活用、フェイスブック、資金計画等を学ぶ10回連続講座				
講師	山本裕司他　　中小企業診断士				
定員	20　人	応募率	175.0　%	出席率	67.9　%
応募人数	35　人（女性　35　人　男性　0　人）	参加人数	35　人（女性　35　人　男性　0　人）		

＜第1回　ビジネスプランを学ぶ講座＞

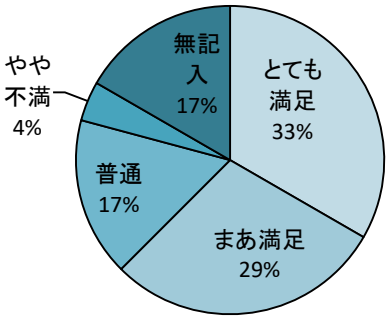


＜満足度＞

参加者の声	・全く何も知らない状態での受講だったのですが、色々と順序立てて計画を練ることが出来ました。とても勉強になりました。 ・様々な勉強も出来て、人脈作りも出来て、本当に有意義でした。すぐの起業は出来ないのかなあ…という結論に至りましたが、受講して良かったです。 ・ビジネスモデルの発表、時間が足りませんでした。もう少ししっかりとねる時間を取れば良かったです。 ・受講の後に、一定の「質問会」「フリートーク」があれば、内容の理解や共有がよくできたと思います。
ねらいに対しての成果	・定員20人に対して35人もの参加があり、地域の起業したい女性を掘り起こすことができた。 ・女性が起業することの意義、やりがいを学びながら、起業のためのスキルを磨くことができた。 ・プレ講座→連続10回講座→フェイスブック→ワンテーブルショップ出店へつなげることができた。2017年度で終了することなく、2018年度は交流会、フェイスブック、すてっぴぃストアへとつなげ、女性起業家支援を継続する。

事業名	起業スターターズ・プロジェクト すてっぷワンテーブルショップ出店フェア				
ねらい	・2016年度に続き地域の起業したい女性を掘り起こし、女性の社会参加を促進する。 ・起業のためのスキルを磨き、起業家として自立をめざすことをめざして、プレ講座1回、女性のための企業連続セミナー10回講座実施し、すてっぷワンテーブルショップへの出店へつなげる。 ・ワンテーブルショップに出店することで、受講内容をいかし起業家の一歩を進める。 ・受講者参加による交流会、すてっぴぃストア、フェイスブック等で情報交換、交流の場を継続する。				
対象者	女性の企業連続セミナー受講者(2016、2017年度)				
計画分類番号	3132　女性への就労支援 3322　就業・労働相談の充実 4311　ワーク・ライフ・バランスの啓発の推進 4422　働く場や仕事の確保				
実施日等	2018年3月4日（日）　10:00～16:00				
内容	女性起業家によるワンテーブルショップ 女性の起業連続セミナー参加者（2016、2017年度）による出店				
講師	なし				
定員	30　人	応募率	83.0　%	出席率	80.0　%
応募人数	25　人（女性　25　人　男性　0　人）	参加人数	24　人（女性　24　人　男性　0　人）		

＜ワンテーブルショップ＞



＜満足度＞

参加者の声	・フェイスブックを作成するなど、自分での集客が大切でした。皆で盛り上げて豊中で「ワンテーブル」として定着すると良いなと思いました。 ・地域の子育て世代のお母さんと知り合う機会になりました。キッズネイルで子どもが喜んでくれました。 ・ブログを見ている方が来てくださって、うれしかったです。 ・初めてでいろいろ経験になりました。もう少し告知してもらうとよかったです。 ・他の起業家のかたと交流できて、とてもためになりました。
ねらいに対しての成果	・2017年度女性の起業連続セミナー参加者（35人）中、10人が出店した（出店できなかった理由：出店予定であったが急な事情ができた、出店内容が決まらない、当日用事がある）。昨年度に比べると少ないので、出店を促す工夫が必要だった。 ・今回初めて出店した人が最も多く（37%）、起業の一歩となり今後の展開につながる場をつくれた。 ・来店総者数299人。うちワークやイベントに参加した人数170人。お客さんとの会話、他者の出店状況を見ながら交流することで自らの事業の方向性を考える参考になった。 ・1、2期の受講生の交流ができた。今度はフェイスブックのグループ形成、交流会、すてっぴぃストア参加により人間関係を広げつながりを継続していく。